

令和2年

決算特別委員会

9月9日

豊明市議会

決 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和2年9月9日

午前10時00分 開会

午後5時07分 閉議

1. 出席委員

委員長	宮本英彦	副委員長	郷右近 修
委員	服部龍一	委員	堀内ちほ
委員	いとうひろし	委員	林 ゆきひろ
委員	ごとう 学	委員	三浦桂司
委員	青木 亮	委員	清水義昭
委員	一色美智子	委員	鵜飼貞雄
委員	近藤郁子	委員	月岡修一
委員	ふじえ 真理子		
議長	毛受明宏		

2. 欠席委員

委員	中村めぐみ	委員	近藤千鶴
----	-------	----	------

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木美智雄	議事課長	塚谷友昭
議事担当係長	寺島慎二	議事課主査	荻 正幸

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮正典	副市長	土屋正典
教育長	伏屋一幸	参事	小森賢一
行政経営部長	藤井和久	市民生活部長	馬場秀樹
健康福祉部長	伊藤正弘	経済建設部長	宇佐見恭裕
教育部長	小串真美	行政経営部次長	古田範明
秘書広報課長	馬場千春	企画政策課長	中村泰正
情報システム課長	小川正寿	財政課長	萩野昭久
総務課長	山田隆貴	防災防犯対策課長	塚田 力
債権管理課長	加藤健治	市民協働課長	水野美樹
市民課長	杉浦由季	社会福祉課長	近藤有紀子

健康長寿課長	浅井俊一	保育課長	二宮真由美
指導保育士	樋口桂子	保険医療課長	伊藤克代
子育て支援課長	川原静恵	産業支援課長	秋永亘正
農業政策課長	青木由美枝	土木課長	星子恭士
下水道課長	近藤潔	環境課長	堅田直寛
会計管理者 兼出納室長	平下義之	監査委員事務局長	相羽敏明
防災防犯対策課主幹	羽場浩一郎	税務課長補佐	山田康晴
環境課長補佐	青山康德	市民税担当係長	前田三和
監査委員	古橋洋一	監査委員	近藤善人

5. 傍聴議員

近藤ひろひで

6. 傍聴者

一般傍聴者 2名

午前10時開会

○決算特別委員長（宮本英彦議員） おはようございます。定刻に御出席をいただきましてありがとうございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

なお、中村めぐみ委員、近藤千鶴委員より欠席の届出がありましたので、御報告をいたします。

会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） おはようございます。

本日の決算特別委員会に付託されました一般会計と9つの特別会計の令和元年度歳入歳出決算につきまして、慎重審査の上、認定いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、本日、税務課長が体調不良で欠席しております。その点、御配慮のほどお願いいたします。御迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 御苦労さまでした。

続きまして、議長より御挨拶をお願いいたします。

○議長（毛受明宏議員） 連日お疲れさまでございます。

本日は決算特別委員会ということで、認定議案10件の審査になりますので、慎重によろしくお願いいたします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 御苦労さまでした。

ここで市長におかれましては退席願いますが、答弁を求める機会がある場合には直ちに出席をいただきますようお願いをいたします。

（市長退席をなす）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 本日の傍聴につきましては、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

本日の決算特別委員会の進め方につきましては9月8日の委員会で協議されており、その結果に従い進めさせていただきますので、御協力をお願いいたします。

一般会計については、原則として款別に所管の部長等により説明を受けた後、質疑を行い、特別会計については各会計別に進めます。なお、総括質疑は一般会計の各款別の質疑終了後行います。討論につきましては特別会計の質疑終了後に一括して行い、採決は会計ごとに行う予定でありますので、よろしくお願いいたします。

次に、職員の方をお願いをしておきますが、9月9日、10日及び11日の3日で審査を行

う予定であり、各委員の質疑にできる限り時間を確保したいと思いますので、特に重要な部分を資料に従って簡潔に説明していただき、直ちに答弁ができないときは後から答弁をしていただくということで次の質疑に移りますので、御協力をお願いいたします。

議事の進行により説明者の入替えのために休憩を取りますが、速やかに行っていただくようお願いをいたします。

また、当局におかれましては、議論を深めるために反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ反問されるようお願いいたします。反問を終了するときも意思表示を明確にされるようお願いをいたします。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、各委員の質疑及び当局の職員からの説明についても、円滑な委員会の進行に御協力をお願いをいたします。

会議に入る前に御報告いたしますが、会計管理者所管の歳入簿及び歳出簿等が提出されておりますので、後ほど各自に自由に御覧をいただきたいと思いますので、御参考に願います。

それでは、会議に入ります。

認定議案第1号から認定議案第10号を一括議題といたします。

初めに、事前に資料請求書が出されておりますので、事前資料請求に入ります。

まず、資料請求書ナンバー1について、林委員より1から7までありますので、1から7までの各資料請求の趣旨説明を簡潔をお願いいたします。また、いつまでに必要かもお願いをいたします。

では、林委員、お願いします。

○林 ゆきひろ委員 資料要求書の1番、2番、3番、予防接種事業一覧と母子保健事業一覧、成人事業一覧、こちら、昨年度実績報告書の4款の衛生費で表が載っていたんですけども、各予防接種した人数であったりとか、ふぁみさぼの人数であったり、そういったものを昨年度と比較したいので、準備をよろしくお願いします。4款の衛生費まで大丈夫です。

それから、4番の市役所出張所移設後の証明書等交付件数の月別推移について、こちらも南部の出張所の証明書の交付件数の推移を確認したいのでお願いします。これも1款の総務費のところまで大丈夫です。

5番の病後児保育室「えがお」の開設後からの利用実績推移、こちらも「えがお」の事業成果を確認するために利用実績の推移をお願いします。こちらは3款の民生費までです。

それから、6番の各基金ごとの10年間の推移ですけども、各基金の推移を確認したいのでお願いします。これはできれば歳入までをお願いしたいです。

それから、7番の平成29年度からの乗合交通運行事業及びひまわりバスの事業費の利用人数の推移、こちら乗合交通運行事業の総事業費と利用人数、それから、ひまわりバスの総事業費と利用人数の推移を確認したいのでお願いします。2款の総務費まででお願いします。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 今説明がございましたけれど、当局において1から7までの資料は用意できますでしょうか。

伊藤部長。

○健康福祉部長（伊藤正弘君） 失礼しました。

①、連続して申しあげてもよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） お願いします。

○健康福祉部長（伊藤正弘君） 健康福祉部所管の①、②、③、1つ飛んで⑤、いずれも用意できます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかの。

馬場部長。

○市民生活部長（馬場秀樹君） こちらのほうの4番の市役所出張所の推移のほう、用意ができます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） あと6、7。

藤井部長。

○行政経営部長（藤井和久君） ⑥、⑦、用意できます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） お諮りいたします。

資料ナンバーの1-1につきまして、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー1-2についてお諮りいたします。

資料ナンバー1-2について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー1-3について、本委員会として資料請求することに賛成の

方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー1-4について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー1-5について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー1-6について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして資料ナンバー1-7について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続いて、資料請求書ナンバー2については、提出者の中村委員が本日欠席のため、本資料請求につきましては取り扱わないことといたします。

続きまして、資料ナンバー3について、ごとう委員より、1から11までの各資料請求の趣旨説明を簡潔にお願いいたします。また、いつまでに必要かについてもお願いをいたします。

○ごとう 学委員 今年度の決算では、概要についても、それから実績報告についても、大幅に資料が減らされております。資料は充実してきちんと決算をするというのが私は原則だと思っていますので、昨年より減らされたものは、基本的なことを今申しておりますけれども、全て公開をお願いするという姿勢でおります。

それから、なお蛇足ですが、もし公開されない場合は、一つ一つ口頭で伺いますので、何百件ということになるかもしれませんが、その点についても御承知おきいただきたいと思っております。

まず、1番目の職種別産休・育休取得状況及び男性の育休取得状況、人数、日数、昨年

と同じものですが、2款までをお願いをしたいと思います。

それから、工事検査成績の一覧表、昨年、業者名を漏らしてしまいましたので、業者名も入れて、それから、昨年は明許分が入っておりませんでしたので、繰越明許の分も含めてをお願いをしたいと思います。これも2款までかな。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 何款。

○ごとう 学委員 2款の契約検査のところまでをお願いをしたいと思います。

それから、工事ごとの名称、契約金額、予定価格、落札率一覧表、これも昨年公開していただきましたけれども、これも2款の契約検査のところまでをお願いをしたいと思います。

それから、4番目の尾三消防組合への負担金の積算資料、前年度出していただきましたけれども、消防費のところまでをお願いをしたいと思います。消防費、9款だったかな。

それから、5番目の課別1人当たり残業時間の多い・少ないほう、それぞれ10人の実際の時間数。昨年公開していただきました。要は何が見たいかということ、職員の配置とか勤務状況がアンバランスになっていないかということを見るためです。これも2款までをお願いをしたいと思います。

それから、6番目の都市計画税の充当事業及び金額の一覧表で、これは土木費まででいいかな。充当事業ですので、これは表に載っていますけれども、具体的な表が載っておりません。何が見たいかということ、都市計画税が間違いなく目的に合った事業に充当されているかどうかということを見たいので、個々の事業がきちんと書いたものを頂きたいというふうに思います。

それから7番目、これが問題のやつですが、100万円未満の委託補助事業の一覧表。今回実績報告書からごそっと落ちておりますので、もし出なかった場合は一つ一つ、1件ごと全て聞かせていただきますので、よろしく願いいたします。

それから、8番目も同様ですが、8番目は100万円以上の表で、この後のほうに書いてあります事業内容、事業の事業内容と契約種別、これが今回は削除してあります。どうして削除するのか私はよく分かりませんが、これも、もしなければ一つ一つ皆お尋ねをしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それから、9番目、平成30年度決算の概要のうち、今回実績報告書にはないもの、または一部削除された部分、前年の実績報告書を見ていただければ何が今回ないかということが、これ、最初の説明では実績報告書のほうに移したということでしたので、突き合わせてみましたけれども、ないもの、削除されているもの、たくさんありましたので、それぞれについてお願いをいたします。

それから10番目、幼保無償化の豊明市としての損益をまとめた一覧表。幼保無償化によって、例えば保育料収入が減ったり、逆に交付税に算入されたりということでプラスマイナスあると思いますが、全体で豊明市としての損益はどうなったのかということ、一覧表にまとめていったものを頂きたいと思います。

それから11番目、寺池及び間米の区画整理が現在進行中ですが、平面図、及びその事業を行うに当たっての財政計画がまとめられていると思いますので、それを頂きたいと思います。これも土木費まで。先ほどの幼保無償化のところは3款までです。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員にお伺いします。7、8、9は何款までに。

○ごとう 学委員 すみません、7、8、9はいろんな多岐にわたっておりますので、それぞれの款の審査に入る前までをお願いをしたいと思います。できるだけ早くお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 11番の寺池は何款でしたか。これ、土木か。8款。

以上、説明が終わりましたけれど、当局において1から11の資料は用意できますでしょうか。各部長よりお伺いします。

藤井部長。

○行政経営部長（藤井和久君） 行政経営部所管の1、2、3、5、6までは用意できます。7、8、9については作成していないものですから用意はできません。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 馬場部長。

○市民生活部長（馬場秀樹君） 市民生活部の④ですが、こちらのほうの資料というのがございません。去年は旧豊明消防から頂いた資料ということで、本年度は資料がありませんのでお願いをします。なお、9款のところ、口頭で尾三消防組合のほうの予算書を参考にお答えをすることはできます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 伊藤部長。

○健康福祉部長（伊藤正弘君） 健康福祉部所管、⑩については用意できます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 宇佐見部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） 寺池は計画平面図及び事業計画書、間米南部の、それから区画整理設計の暫定図面は用意できますが、間米南部の財政計画については、関係機

関との協議中であるため、計画の図面が決定しておりませんので、提出はできません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 以上ということです。

それではお諮りをいたします。

資料ナンバー 3-1 について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー 3-2、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー 3-3 についてお諮りいたします。

本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー 3-4、これは資料がないということですので、省略をします。

資料ナンバー 3-5 について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー 3-6 についてお諮りいたします。

本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、3-7、3-8 につきましては、資料請求は用意できないということですので割愛をします。

続きまして、資料請求 9 番についてお諮りをいたします。

資料請求 3-9 につきましても、資料が用意できないということですので割愛をします。

3-10 につきましてお諮りをいたします。

資料ナンバー 3-10 について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求

めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料ナンバー3-11についてお諮りをいたします。

本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 賛成少数です。資料請求は否決されました。

続きまして、資料請求ナンバー4について、ふじえ委員より趣旨説明を簡潔にお願いします。また、いつまでに必要かもお願いをいたします。

○ふじえ真理子委員 第5次総合計画のまちづくり指標の数値の経年の変化が分かるものを要求したいと思います。達成状況を見るために、項目がたくさんありますので、一覧表をお願いしたいと思います。2款までに。

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 当局において用意できますでしょうか。

藤井部長。

○行政経営部長(藤井和久君) 用意できます。

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 用意できますということですが、お諮りをいたします。

本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 賛成多数です。当局においては2款までに資料の用意をお願いをいたします。

続きまして、資料ナンバー5について、ふじえ委員より①から③までについての資料請求の趣旨説明を簡潔にお願いします。また、いつまでかもお願いをします。

○ふじえ真理子委員 認定議案第2号の国民健康保険特別会計です。これ、①、②、③、例年どなたかが聞いている数字なんですけれども、時間短縮も兼ねて、事前に数値を知りたいので書きました。①が加入者数と世帯数、年度末時点のものです。②が軽減対象者の人数、2割・5割・7割のそれぞれの内訳、あと3番目が滞納の件数、人数ですかね。これ、前年度と対比できるものをお願いしたいと思います。国保特別会計までお願いします。

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 当局において、資料1から3まで用意できますでしょうか。

伊藤部長。

○健康福祉部長（伊藤正弘君） ①、②、用意できます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 馬場部長。

○市民生活部長（馬場秀樹君） ③、用意できます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） お諮りいたします。

資料ナンバー5-1について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成多数です。当局においては国保特会までに資料の用意をお願いします。

続きまして、資料ナンバー5-2について、本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成多数です。当局におきましては国保特会までに資料の準備をお願いします。

続きまして、資料ナンバー5-3についてお諮りをいたします。

本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成多数です。当局においては国保特会までに資料の用意をお願いいたします。

続きまして、資料ナンバー6について、郷右近委員より資料請求の趣旨説明を簡潔にお願いし、また、いつまでに必要かもお願いいたします。

○郷右近 修委員 債権管理課で毎年滞納の金額を目安にして、差押え等の手だても取られる案件があると思います。この案件の件数、それから、債権管理課で扱った全体の件数について知りたいです。

それから、差押えについては種類があると思うので、その内容が分かるものもお示しいただきたいと思います。これは2款ですね。2款までです。お願いしたいです。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 当局においては資料の用意はできませんでしょうか。

馬場部長。

○市民生活部長（馬場秀樹君） 用意できます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） では、お諮りいたします。本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 賛成多数であります。当局においては2款までに資料の準備をお願いいたします。

以上で資料請求の扱いを終わります。

続きまして、認定議案第1号についての説明及び質疑を行います。

現金の保管及び一時借入金の状態並びに財産の保管及び移動状況について、管理者より説明をお願いいたします。

平下室長。

○会計管理者兼出納室長（平下義之君） それでは、現金及び財産等の管理、移動状況について説明します。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） すみません、ちょっと聞きづらいですので、もう少しマイクに近づいてお願いします。

○会計管理者兼出納室長（平下義之君） それでは、令和元年度の現金及び財産等の保管、移動状況について御説明いたします。

初めに、現金の保管状況を説明しますので、事前に配付させていただきました決算資料1、令和元年度現金保管状況（各月末残高）をお願いいたします。

これは本市における各月末の現金保管残高を表したものであります。一般会計と特別会計を合わせました支払資金に充てる歳計現金欄の各月末残高は月平均で約26億円でありました。歳計外現金欄の各月末残高平均約3億1,000万円は、市・県民税案分後の県民税や職員等の所得税の保管金などの一時預り金であります。基金につきましては、元年5月に前年度予算に約15億円を積み増しして70億8,759万1,943円とし、2年2月及び3月に財政調整基金等の一部を取り崩しております。

続きまして、財産の移動状況を説明いたします。歳入歳出決算書の458、459ページ、財産に関する調書を御覧ください。

公有財産の土地の欄の合計が3,199.64平米増、建物の非木造の合計が33.00平米減となっております。内訳は460ページから473ページに記載してありますが、主に土地の増は大久伝排水機場の用地取得、建物の減は双峰小学校の駐車場拡大に伴い器具庫を撤去したことによるものです。

続きまして、474ページを御覧ください。

公有財産の2、山林から、5、無体財産権までは該当するものがございません。6、有価証券は保有する名古屋競馬株式会社の株券であり、年度中の増減はなく、年度末現在高は32万1,000円であります。7、出資による権利につきましては、豊明市土地開発公社出資金をはじめ10団体に2,100万5,000円あります。8、不動産の信託の受益権は該当するも

のございません。

次に、475ページ、2、物品の保管状況ですが、購入価格30万円以上の備品を475ページから483ページに記載しております。483ページの最後の欄の決算年度中増減高は2件の増、年度末現在高は1,092点であります。

続きまして、484ページを御覧ください。

3、債権は市民税の特別徴収分4月・5月分であり、586万7,000円の減。年度末現在高は5億5,902万6,000円となります。4、基金につきましては、元年度中に11億1,588万3,281円増加し、年度末現在高は71億6,490万3,741円となっています。

以上で現金及び財産等の保管、移動状況の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

なお、当局の的確な回答を得るため、質疑につきましては必ずページ数と項目を明示してから質疑を行ってください。

それでは、質疑のある方は挙手をお願いします。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて現金の保管及び一時借入金の状況並びに財産の保管及び移動状況についての質疑は終わります。

続いて、一般会計の歳入全体について、藤井行政経営部長より簡潔に説明をお願いします。

藤井部長。

○行政経営部長（藤井和久君） それでは、財政状況の概要から説明しますので、主要施策の成果及び予算執行の実績報告書4ページ、5ページをお開きください。

4ページの上段、令和元年度決算状況（普通会計）の表の上の左側、歳入総額Aを御覧ください。

令和元年度は232億8,176万4,000円で、前年度比3%、6億8,811万5,000円の増であります。2ます横、歳入歳出差引き15億2,653万9,000円が形式収支となり、その横の翌年度へ繰り越すべき財源1億100万5,000円を控除した14億2,553万4,000円が実質収支Eとなります。実質収支額は前年と比べ1億8,893万8,000円増えています。

続きまして、6ページ、財政構造の状況をお願いします。

表の上段、基準財政需用額とその下、基準財政収入額の差が普通交付税額となります。普通交付税10億1,505万4,000円、特別交付税1億7,483万8,000円、交付税全体で11億8,989万2,000円となり、1億1,593万7,000円の増となります。財政力指数は0.91で昨年と同数値です。最下段の公債費比率も2.3%で、昨年と同様の数値となっております。

続いて7ページ、市債の状況をお願いします。

上段(1)全体の推移の表の最下段、令和元年度の現在額は平成30年度に比べ約1,200万円減少しています。

続いて8ページ、下段、基金残高をお願いします。

一番上の財政調整基金の年度末現在高は39億6,445万6,000円で、令和元年度中に4億6,225万9,000円の積み増しをしました。教育施設建設及び整備基金と公共施設建設及び整備基金には、それぞれ2億円ずつの積み増しをしました。

それでは、引き続き一般会計歳入決算について説明します。前年度との比較ができませんので、監査委員の審査意見書で説明をします。

14ページをお願いします。意見書をお持ちでない方は決算書の6ページからになります。監査意見書の審査意見書14ページですね。

令和元年度の決算額は232億5,409万8,760円で、前年度決算と比べますと6億9,256万8,412円の増となります。

17ページをお願いします。

1款 市税は、収入済額は110億2,152万3,000円で、前年比2億7,551万2,000円の増収となっております。個人市民税が1億6,739万2,000円の増、法人市民税が879万2,000円の減、固定資産税が9,477万3,000円の増、軽自動車税が536万3,000円の増、たばこ税が422万9,000円の増、都市計画税が1,254万8,000円の増となっております。

続きまして19ページ、下段の4款 配当割交付金と20ページの上段、5款 株式等譲渡所得割交付金を併せて説明します。

配当割課税、株式等譲渡所得課税共に5%の税率で、県税として課税され、そのうち59.4%が県から市町村に交付されるものであります。経済活動の動向によって大きく左右されるもので、配当割交付金は前年比634万1,000円の増収、株式等譲渡所得割交付金は1,292万7,000円の減収となりました。

続きまして、20ページ中段、6款 地方消費税交付金です。前年度比6,457万2,000円の減収の11億8,530万6,000円となりました。令和元年10月から8%から10%への引上げとなった消費税ですが、地方への交付は時差があり、引上げ分の影響は令和元年度にはほぼありません。さらに事業者等の3月交付分の国への納付期限である11月末日が土曜日であったため、期限が翌12月となりました。その分が令和2年6月分交付分に回されていることから、決算額としては減額となっております。

続きまして、21ページ下段の10款 地方交付税であります。地方交付税は11億8,989万2,000円で、前年度比1億1,593万7,000円の増収です。

続いて、少し飛びますけれども、24ページ、14款 国庫支出金です。国庫支出金の合計は30億2,030万円で、前年度比5億2,383万円の増となりました。主な要因としましては、保育所等整備交付金で約3億3,600万円、プレミアム付商品券関連補助金で約6,200万円の増となっております。

続いて、26ページをお願いします。

17款 寄附金は2億6,926万6,000円で、前年度比1,530万7,000円の増となりました。主なものは中央競馬会からの環境整備事業費で、2億3,975万円の寄附を頂きました。なお、ふるさと豊明応援寄附金は2,434万、前年度比174万1,000円の増にて決算しております。

続いて、18款 繰入金は4億3,800万8,000円で、前年度比4億4,444万4,000円の減となりました。財政調整基金からの繰入れは4億1,676万4,000円で、水上太陽光発電事業特別会計から一般会計への繰入れは2,124万4,000円となりました。

続いて、19款 繰越金は13億8,311万3,000円で、前年度比286万3,000円の増となっております。

次に27ページ、21款の市債であります。市債は16億180万円で、前年度比3億1,330万円の増となっております。臨時財政対策債は8億8,670万円、事業債は7億1,510万円発行しました。

以上で一般会計の歳入全体の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いします。

三浦委員。

○三浦桂司委員 基金運用状況の決算意見書の今の令和元年度分ですけど、臨時財政対策債、これの発行可能額は、11ページの上段の表、実質収支の推移で8億8,676万2,000円、発行額のほうは、今言われました21款 市債、27ページ最下段の8億8,670万円、ほぼ満額発行されております。満額発行しない年もありましたけども、満額発行した理由と、満額発行しなかった場合どうなっていたのか、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 臨時財政対策債は国が示す標準的な団体で必要とされている一般財源を確保するため、つまり豊明市が標準的なサービスを行うため必要な一般財源を確保するために満額を発行しています。これが満額発行している理由で、ということで、市民の大切な一般財源ですので、満額発行しないという選択肢は財政当局としてはありませんので、満額を発行しなかった場合の想定というのがありません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 8億8,670万強ですね。利息は幾らでしたかね、令和元年の。利息。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 8億の利息ということだと51万9,223円です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 利率というのは、ちょっと前、聞いたような気がするんですけど、令和元年度の利率というのは0.何%でしたかね。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 0.005です。0.005%になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 昨日の本会議質疑でもありましたけども、これ、臨時財政対策債に見合う財源は令和元年度はなかったかどうか伺います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） お答え願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 見合う財源はありません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 臨時財政債に見合う財源はないということでしたので、財政が苦しいから借りたということだろうと思いますけれども、監査の意見書の、これ、いろんなところに載っていますけど、監査意見書の11ページを見ていただくと、実質収支の推移ということで元年度の実質収支、この上の表の右上のところに14億とあります。これは12月補正で基金を6億だったか、ちょっと記憶が定かではありませんけれども、お金が余って積み立てて、なおかつこの14億、お金が実質収支で余ったということなんですけど、そういう状況の中で借りる必要があったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○**財政課長（萩野昭久君）** 何度も申し上げているんですけども、豊明市が標準的なサービスを行うために必要な一般財源ですので、満額発行しております。

以上です。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** ほかに。

林委員。

○**林 ゆきひろ委員** 実績報告書の16ページ、17ページの歳入の市税の部分なんですけれども、個人市民税が毎年上がっておりまして、反対に法人市民税が平成29年度から下がっていますけれども、これの原因だったりとか、どういうふうに分かれていますか。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** 加藤課長。

○**債権管理課長（加藤健治君）** まず、現年度が、調定額が大きいものですから、現年度を中心にお答えしたいというふうに思います。

まず、個人市民税につきましては、納税義務者が微増しております。500人程度増加しております。それで、生産年齢人口の15歳以上65歳未満の生産人口はほぼ横ばいで、65歳以上の納税義務者の方が増えているというふうに解釈されて、調定額も増えて収入額も増えているというふうに理解しております。

法人市民税につきましては、去年もそうだったんですけども、市内の一番大きい法人である事業所が、業績がちょっとダウンしまして、そのダウン分が響いて減額になっています。2位以下の法人の事業所につきましては若干増になっています。それで、合計すると、法人市民税がちょっと微減になっているというふうな整理をしております。

以上です。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** ほかにございませんか。

林委員。

○**林 ゆきひろ委員** 調定額が増えているということなんですけれども、監査意見書の18ページで不納欠損についてなんですけれども、不納欠損額が増えていまして、件数も増えているんですけども、その辺りの原因、要因は何でしょうか。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** 加藤課長。

○**債権管理課長（加藤健治君）** 不納欠損というのは、上から15条の7の4項、5項、それから18条1項から、概略を説明すると、15条の7の第4項は執行停止、滞納処分の執行停止をしてから3年たてば欠損になるんですけども、その数字です。15条の7の第5項につきましては即時欠損と一般的に言われていまして、即欠損するという事務手続です。18条の1というのは、5年間、地方税が取れなかったら5年間、例えば時効になるということで不納欠損になるんですが、その数字で、ただ、18条の1の中には4分の3ほど、執行

停止をして、その後執行停止をしてから3年よりも5年時効のほうが早い場合は、ここの18条の1項で整理をなささいということで整理をしておりますので、このような数字になっています。それで、このような方々を一人一人積み上げて積算をして抽出をすると、このような結果の数字になったということではございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 今回の関連なんですけども、14ページか18ページ分かりませんが、この基金運用状況の。債権管理課ができて、29、30、31と見ると、一旦下がったんですけどまた増えたという要因というのはつかんでおりますかね。金額。14の最下段の表で、29、30、元年と不納欠損額が。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） 今も御説明させてもらいましたけども、同様に、それぞれ29、30、元年度、それぞれ一人一人チェックをして処分停止、執行停止する場合は執行停止をし、なおかつ時効が早めに迎えた方については時効になると。時効のほうで整理をし、ということを一一人整理して抽出して積み上げた結果でございますので、それぞれの分析、上下の分析というのは具体的にできませんし、来年度はもしかしたら不納欠損、上がるかもしれません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書の16、17ページの上から4行目ぐらいですかね、法人市民税のところを見ていただくと27年からの推移がありますけれども、法人市民税はかつて法人税割が12.6だったかの率が、たしか6%までもう下がってきておると思うんですが、この27年から元年までの間、法人市民税自体はほとんど増減がない状態で来ておりますけれども、法人市民税の法人税割の税率はこの間どういうふうに推移してきたのかということと、現在は何%かということをちょっと教えていただきたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） 少しお時間ください。後でお答えします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 後でお答えを願います。

ごとう委員。じゃ、譲ります。三浦委員。

○三浦桂司委員 決算カードでお聞きいたします。

表面の中段の右側、平成30年度と比較して基準財政需用額が1億8,000万強、収入額が6億50万強、標準財政規模が9,290万、これ計算したんですけど、増えた。増えた要因というのはつかめておりますか。それぞれが増えた要因というのは。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） お答え願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 需用額なんですけども、これは交付税算定のときに使う、いわゆる歳出側の数字になるんですけど、項目が幾つかありまして、項目でいきますと、社会福祉費と高齢者の関係の65歳以上の項目が増えておりますので、そこら辺で需用額は増えております。収入額のほうは、交付税のときの、いわゆる歳入側になるんですけど、これは主に市民税ですね、税の増が要因で、その中でも個人の所得割と固定の家屋の関係が増加しておりますので増えております。標準財政規模のほうは、こちらは先ほどの収入額と同じような要因になるんですけども、市民税ですね、税のほうは、特に法人と固定のほうが増えておりますので、それが増額の要因となっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） 先ほどの法人税割の税率の変化と税収の上限についての説明ですが、平成26年9月30日までの事業開始の事業所が、法人税割の割合が12.3%です。平成26年10月1日以降事業開始が9.7%で、平成30年10月1日以降事業開始が6.0%になっております。26年から27年度については今ここには資料がないんですけども、27年度から28年度については若干減っていますということもありますし、もう一つ大きな要因は、今さっきもお伝えしたとおり、一番大きい事業所がちょっとでも収入が減になると大幅に法人税割額が減になるということがあって、その事業所の影響がとても大きいというふうに解釈しております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 本来なら、本来ならというか、かつては12.3%だったものが6%まで今現在下がっているわけですけども、そのことによる影響額というのはどのくらいか試算はされていますでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） 具体的には、ごめんなさい、試算はしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

三浦委員。

○三浦桂司委員 決算カードの裏面の歳入の6番目、先ほど部長、説明があったんですけど、地方消費税交付金、6,457万減少しております。昨年10月に消費税が8%から10%に上がって、半年分は令和2年度以降に組み込まれると今言われましたけど、その後の、それにも関わらず減っていますんで、期日の決算日が、11月末がどうのこうのと言われましたけど、もう少しそのところを詳しくお願い、説明できますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 令和元年度に交付される、3月の交付というのが最後になるんですけども、事業者の交付期限というのが11月末までに国とか県のほうに納めてくださいということになるんですけども、それが、その末日が土日とかになりますと、その期限が翌日の12月になりますので、12月分になりますと、3月交付分というのが令和2年度のほうに回されますので、その分が令和2年度のほうに入ってきていますので、元年度分の決算としてはちょっと減額になってしまったということになります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 監査意見書の15ページで、12款の分担金及び負担金が1億2,800万ほど前年度と下がっているんですけども、この内訳といたしますか、大きなものでどういったものがあるのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 幼保の無償化によります、いわゆる保育料ですね、その減額が9,700万ほどありますので、それが大きな要因です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その保育園の負担金の分は国が支給するような話だったと思うんですけど、それはどこに入っているのでしょうか。あと、幾らぐらい入ったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 萩野課長で分かりますか。

○財政課長（萩野昭久君） 決算書の28、29ページの真ん中辺りの2項の子ども・子育て支援臨時交付金ということで、国のほうから無償化に係る費用ということで手当てをされております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） まだありますか。あと1人で休憩に入りますけど。
ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほどの三浦委員の交付税の質問の関連ですが、説明では需用額で社会福祉、高齢者福祉の関係で増えて、増えたところと。ところが一方、収入額のほうでも税収が増えているということですのでけれども、両方増えたら、この意見書の15ページ……。

（マイクに向かってくださいの声あり）

○ごとう 学委員 すみません。意見書の15ページを見ていただくと、真ん中辺りの一番右の辺り、交付税の増額1億1,500万、交付税が増えておるわけです。それで先ほどの財政課長の説明だと、需用額も、それから収入額も増えておるということですので、そういうことであれば交付税はそんなに増えないわけですがけれども、これ、収入額は何がどのくらい増えて、需用額は税収増である程度分かりますけれども、需用額と収入額のそれぞれの増の差がこの増額の1億1,500万になっておると思いますので、その辺ちょっと分かりやすく説明をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 不足額は現金でもらえる普通交付税と、借金というか、臨時財政対策債のほうで手当てをするんですけども、交付税のほうは1億円ほど増えているんですけども、臨時財政対策債の発行可能額が1億円ほど減っておりますので、実際の不足額としては2,000万ほどの増額ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 普通交付税を計算するとき、それぞれの費目ごとに需用額を積算しますよね。その積算した額と、簡単にいうと税の75%ですか、交付税の収入額の差が現金でもらえる額で、その現金でもらえる額が1億1,500万増えておるんですよね。ということは需用額が収入額を上回って増えておることだと思ってしまうんですけど、その額がおよそ幾らなのかということをお聞きしたわけなんですけど。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 需用額の計算は最後に臨時財政対策債の発行可能額というのを引きますので、その部分が増えておりますので、発行可能額を引きますので、それが需用額になりますので、そういうことになります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 1時間ほど経過をしましたので、ここで10分間休憩とさせていただきます。

午前 1 1 時 2 分休憩

午前 1 1 時 1 2 分再開

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。
質疑のある方、挙手を願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 決算書の55ページ、真ん中辺りにふるさと応援寄附金2,434万というのが載っておりますけれども、これだけ寄附金があったわけですけれども、逆に豊明市民が市外に寄附をしたことで、豊明市の税収が減った額は元年度は幾らだったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場部長。

○市民生活部長（馬場秀樹君） ふるさと納税の控除額につきましては、令和元年度は1億1,268万円ほどでございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 同じ決算書の59ページ、下から4分の1ぐらいのところの収入未済額ですけれども、雑入の収入未済額が1,240万5,000円、大変大きい額になっておりますが、雑入、いろいろありますけれども、何がこの収入未済額になっておるのか御説明をお願いいたします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 雑入の収入未済額の内訳でよろしいですか。

決算書の61ページの真ん中からちょっと下の火葬場等使用実費徴収金とその2つ下の生活保護の返還金、その下の生活保護費の滞納繰越分、2つ飛んで心身障害者扶助料滞納繰越分、次の63ページの真ん中よりちょっと上の児童扶養手当等過年度の返還金とその下の滞納繰越分です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 項目は分かりましたけれども、今のところはこれは入ってきた金額ですよね、これ、決算書ですので。入ってこなくて収入未済額になったのは、これ、全部じゃなくても主なものでいいですので、大きい金額のものを教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 今のが国の未済があるやつで、大きいのでいきますと61ページの生活保護費の滞納繰越分で約1,000万ほどです。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

青木委員。

○青木 亮委員 決算書、同じページ、58、59ですけども、今の雑入の一番上、秘書広報課の雑入が昨年よりも115万円ほど多く入っているんですけど、これ、何でしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） こちらの雑入に関しましては、地方公務員災害補償基金負担金の過納付分の返金でございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の7ページの一番下の起債に関してですけども、学校施設の改修事業の起債が4つあるんですけども、これはそれぞれどういった工事での起債なのかというのをお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） まず一番上からいきますと、小学校の、これ、繰越分になるんですけども、小学校のトイレと小中学校のエアコンの設置になります。次の2番目のが小学校のキュービクルと栄中学校の屋上防水工事、3つ目が小中学校のエアコンの設置になります。一番下が中学校のキュービクルの分になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 決算書の63ページ、先ほどと同じ雑入ですけども、63ページにちょっとよく分からないのが3つありますので順番にお聞きしていきますけれども、まず1つ目、プレミアム付商品券の販売収入、5,900万上がっております。これは、プレミアム商品券はたしか国が、全額国からお金が入って、それを市が商工会に委託したんだったかな、

何かそんなような形で交付したと思うんですが、雑入で販売収入が入ってくるというのは、これはどういうことなんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 分かりますでしょうか。

答弁願います。

宇佐見部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） これは、プレミアム商品券を販売したときの入となっております。このお金についてはまたお店のほうに還元されるお金でございますので、売ったお金の入がここに計上されております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 売ったお金の入。

（販売金額ですの声あり）

○ごとう 学委員 販売金額。

その1つ飛んで下の土地改良施設適正化事業工事費収入というのが、これが何かよく分からないんですけれども、これは何でしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

宇佐見部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） すみません、少しお時間ください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 もう一つ、部長、重なっちゃったら申し訳ないですけど、下から5番目の家電製品協会助成金ということで200万ほど入っていますけれども、これも何か何のことかよく分からないんですけど。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。どなたですか。

宇佐見部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） こちらも、またちょっと4款のときに併せてお答えさせていただく、今控えておらんものですから、4款のときに併せてお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 4款でお答えを願います。

ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 4款になると私も忘れちゃうかもしれないので、そちらから答えていただけると、自主的に答えていただけるということによろしいでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 宇佐見部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） こちらからお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

先ほどの回答はどれぐらいかかるでしょうか。

宇佐見部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） 先ほども6款になると思いますので、6款のときに併せてお答えさせていただきます。こちらからお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） それでは、6款でお答えをいただくということで処理をしたいと思います。

ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて一般会計の歳入全体の質疑を終わります。

次に、一般会計の歳出に入る前に、職員の人件費について、一括して藤井行政経営部長より説明を願います。

藤井部長。

○行政経営部長（藤井和久君） それでは、令和元年度の職員給与費の決算につきまして、事前に配付しました決算資料ナンバー2に沿って説明をします。

前年度と比較して増額・減額となった理由を中心に説明しますが、一般会計及び各特別会計間は職員の人事異動によっても前年度との給与差が生じてきますので、この説明は全会計の合計額で説明したいと思います。また、表の括弧で示している金額は特別職の給与費を除いた価格を表示していますが、説明は特別職の給与費を含めた総額で説明をします。

令和元年度の職員総数は、市長以下再任用職員を含め447人です。平成30年度と比較して、総数での増減はありません。給与費の支出額合計は約24億3,300万円で、前年度と比較して約1,270万円の減額となりました。

次の表の項目別に説明したいと思います。

2の給料は約14億5,200万円、前年度比約2,000万円の減額です。減額要因としては、退職職員と新規採用職員との給料の差、定年で再任用への移行による給料の減額などがあります。

3の職員手当は約9億8,100万円で、前年度比約740万円の増となりました。扶養手当は約2,800万円、前年度比約34万円の増、地域手当は約1億5,000万円で、前年度比約190万円

の減、住居手当は約1,700万円で、前年度比約88万円の増、通勤手当は約2,200万円で、前年度比約190万円の増、特殊勤務手当は約67万円で、前年度比約3万円の増、超過勤務手当は約7,800万円で、前年度比約370万円の増、管理職手当は約5,400万円で、前年度比約65万円の増、期末手当は約3億6,500万円で、前年度比約69万円の減です。勤勉手当は約2億5,200万円で、前年度比約300万円の増です。管理職特別勤務手当は令和元年度の支出はありませんでした。児童手当は約1,560万円で、前年度比約32万円の減です。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ただいまの説明に対して、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 この表は2節、3節の給料と職員手当だけですけども、人件費としてはこのほかに共済とか退職手当組合の負担金も入っておると思いますが、そういったものを含めて幾らになるのかということの御説明をお願いしたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 2節、3節、共済費の4節を合計しまして比較しますと、元年度の支出額は約32億になります。30年度も約32億ですので、ほぼ横ばいということですよ。金額としましては1,900万円の減額となります。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 そのことでちょっとよく分からないんですけども、決算状況カードの人件費、決算状況カードの裏側を見ると、人件費が約32億ということで載っています。今、人件費総額が32億ということでしたけれども、決算カードは普通会計ですので、国保特別とか下水特別とか、特別会計はここには入っていない、の人件費はここには入っていないと思うんですけど、それが入っていないのに金額が一致してしまうというのはどういうことなんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） この決算カードは国が示す決算統計に基づいてやっております。その決算統計のルールというのがあって、統一的なルールなんですけども、元となる数字は先ほど言った人件費なんですけども、その人件費を、例えば投資的経費に係る

人の人件費の分は、その分を投資的経費のほうにちぎったりして持ってきますので、一致はしません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 人件費で投資的経費のほうへ持っていくのがあるというのは分かりますが、それだと幾らぐらい投資的経費のほうに持ってっているんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 決算カードの裏側の投資的経費のうち人件費ってあると思うんですけど、ここに数字があります。この数字です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 もしかしたら2款かもしれない。2款でお聞きすることだったら2款で聞きます。

今、人件費に関する事で、先ほどの資料2の説明で、全会計職員の人数と給料、総額をお聞きしたんですけども、元年度のパートさんの人数とか金額というのは今ここで聞いていいんでしょうかね。お答えできますでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 令和元年度の非常勤職員の人数ですが、4月1日現在、平成31年4月1日現在で664人です。金額につきましては元年度の決算の額、非常勤職員の報酬の額としましては、棒読みで言いますので、よろしいでしょうかね。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） お願いします。

○秘書広報課長（馬場千春君） 793700287です。7億9,300万になります。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 これ、また前年度の対比で人数と金額も、お願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） お答え願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 30年4月1日現在の非常勤の職員の人数は637名です。金額につきましては、棒読みで言います、798701342、7億9,800万になります。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて職員の人件費関係の質疑を終わります。

ここで理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午前 1 1 時 2 8 分休憩

午前 1 1 時 3 3 分再開

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、歳出に入りますが、今後につきましては、議事進行に併せて関係職員の入替えのために休憩を入れる場合もありますので、御承知おきを願います。

それでは、1 款 議会費についての説明をお願いいたします。

鈴木議会事務局長。

○議会事務局長（鈴木美智雄君） それでは、1 款 議会費、歳出の決算から御説明をいたします。

決算書の68ページを御覧ください。

1 款 1 項 1 目 議会費の歳出決算額は2億2,295万8,740円となり、予算現額に対しての執行率は97.3%となります。また、議会費決算額の対前年度比は96.4%、821万2,819円、821万ほどの減でございます。その主な要因といたしましては、議員期末手当で約280万円の減、議員共済給付費負担金で約128万円の減、備品購入費で約300万円の減、職員給料等で180万円の減等によるものでございます。

次に、議会費の歳入決算でございますが、決算書の65ページの上段、4 雑入の最後の欄にあります議事課雑入の1,037円のみでございます。

次に、恐れ入りますが、主要施策の成果及び予算執行の実績報告書の21ページ、実績報告書の21ページの事務事業の概要を御覧いただきたいと思っております。こちらに事務事業の概要といたしまして、1、人件費、2、議会活動といたしまして、議員の活動の状況、議案等の審議状況を掲載してございます。

22ページに委員会の行政視察の状況、23ページに事務局事業といたしまして議会だよりの発行、市議会の放映、他議会の行政視察の受入れ状況を示しておるものでございます。

次に、この実績報告書の111ページをお願いいたします。

111ページの最上段でございますが、会議録の作成業務委託料371万6,287円を記載してございます。

以上で1款 議会費の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 説明は終わりました。

1款 議会費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 21ページの上から3分の1ぐらいのところですけども、共済費で3,656万9,600円というのがあります。これ、退職された議員の、かつては退職金制度があったのでその退職金と、それから、退職金制度がなくなってから、一時金ではなくて退職金のほうを選ばれた方もみえたと思いますので、その内訳を教えて、人数でいいですので、内訳を教えていただきたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 塚谷課長。

○議事課長（塚谷友昭君） 人数でございますが、31名となっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 この31名の中には、年金と、それから、遺族年金の方もみえると思うんですが、その内訳はどういうふうになっておるのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○議事課長（塚谷友昭君） 退職年金が16名、遺族年金が15名という内訳になっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて1款 議会費の質疑を終わります。

続きまして、2款 総務費について、順次説明をお願いいたします。

藤井部長。

○行政経営部長（藤井和久君） それでは、2款 歳出のうち、行政経営部所管の部分について説明します。

実績報告書の25ページを御覧ください。

2目 秘書人事管理費は決算額約8億2,928万円で、前年比約127万円の減額です。

次に、26ページをお願いします。

4目 広報費の決算額約1,302万円で、約96万円の増額です。主な要因としまして、広報の印刷単価の増額、ページ数の増などがあります。

27ページをお願いします。

5目 財政管理費は決算額約1,357万円で、約62万円の減となりました。

続いて29ページをお願いします。

8目 企画費は決算額約9,574万円で、約2,754万円の増です。主な要因はダイヤ改正に伴う循環バス運行負担金の増額、(仮称)多世代交流館の基本設計委託料に伴う増額などです。

続いて30ページをお願いします。

10目 市民相談費は決算額約348万円で、約11万円の増です。

次に34ページ、12目 電算管理費をお願いします。決算額は約1億752万円で、約845万円の増となりました。職員用パソコン550台を更新し、ウインドウズ10への移行をしました。また、パソコンへのログインは顔による生体認証を導入し、顔とパスワードの2要素認証としております。

最後に、不用額の説明をしますので、決算書の73ページをお願いします。

秘書人事管理費の4節 共済費、約886万円は、職員共済組合負担金を30年度の負担金率で予算計上しましたが、実際の負担金率の減少により不用となりました。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長(宮本英彦議員) 続いて馬場部長。

○市民生活部長(馬場秀樹君) それでは、2款 総務費のうち、市民生活部所管の主なものについて説明をさせていただきます。

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書のほうに基づいて説明をいたします。

では、24ページをお願いをいたします。

2款1項1目 一般管理費は対前年度比2%の減、959万9,000円余りの減額となりました。庁舎の警備や総合案内及び宿直業務が主な業務でございます。

続きまして、26ページをお願いをいたします。

3目 文書費は対前年度比0.9%、19万5,000円余りの増となりました。

続きまして、28ページをお願いをいたします。

7目 財産管理費は、対前年度比10.9%増の1,729万2,000円余りの増額となりました。増額の主な理由は窓口改善工事などを行ったことによるものです。

続きまして、31ページをお願いをいたします。

11目 市民活動推進費は、対前年度比20.6%の2,011万6,000円余りの増額となりました。

主な要因といたしましては、コミュニティ助成金、市民交流センターの人件費などによるものでございます。

続きまして、35ページをお願いいたします。

13目 防犯対策費が前年度比21.3%減の281万7,000円余りの減額であります。これは防災設備設置費補助金の減によるものでございます。

続きまして、同じページの中段、2項1目 税務総務費が1,671万9,000円余りの増、対前年度比7%の増であります。主な要因は、豊明市全域航空写真撮影業務委託、軽自動車検査情報市町村提供システム連携構築委託の増によるものでございます。

続きまして、36ページをお願いいたします。

2目 徴収費が1,126万2,000円余り増額であります。対前年度比16.2%の増であります。これは主に電算関係委託料の増、及び過誤納還付金1,342万円余りの減。平成30年度の債権管理課発足に伴う滞納管理システムのライセンス購入が令和元年度にはなく、消耗品費225万8,000円余りが減額となったもので、結果的に増額になったものであります。

続きまして、37ページをお願いいたします。

3項1目 戸籍住民基本台帳費が、対前年度比547万9,000円余り増の5.6%の増であります。主な増額要因は、戸籍住民人件費、個人番号カード交付事業費交付金の増によるものであります。

続きまして、38ページ、39ページをお願いいたします。

4項 選挙費、3目 参議院議員選挙費は皆増の2,762万3,000円余りで、令和元年7月21日に執行しました参議院議員選挙の執行経費であります。

4目 愛知県議会議員選挙費は403万8,000円余りで、平成31年3月29日に告示をしました愛知県議会議員選挙の執行経費です。なお、無投票当選でありました。

5目 市長・市議選挙費3,211万6,000円余りは、平成31年4月21日に執行した市長・市議選挙の執行経費です。なお、市長選挙は無投票当選でございました。

続きまして、40ページをお願いいたします。

5項2目 商工統計調査費は52万7,000円余り増額、対前年度比226%の増額であります。経済センサス基本調査を実施したことによる増額であります。

その下3目 諸統計調査費は188万5,000円余りの減、対前年度比43.3%の減であります。これは前年の平成30年度に住宅土地統計調査が終了したことによる減であります。

続きまして、43ページをお願いいたします。

7項1目 交通安全対策費は97万5,000円余りの減額、対前年度比3.5%の減額であります。主な要因は交通安全啓発資材等購入費の減額によるものであります。なお、委託事務

は111ページから、補助事業は131ページから、主要の工事は137ページに掲載がしてございます。

続きまして、不用額の説明をいたしますので、決算書、厚いほうの決算書の81ページをお願いいたします。

総務費、財産管理費の需用費は主に庁舎維持管理事業の光熱水費などの執行残、委託料は主に公用車管理事業の公用車運転業務委託料の執行残によるものです。

続いて、決算書の95ページをお願いいたします。

税務総務費の委託料は、主に単価契約による電算事務委託の執行残によるものです。

徴収費の償還金・利子及び割引料は、主に過誤納還付金の執行残によるものです。

続いて、99ページをお願いいたします。

戸籍住民基本台帳費の負担金、補助及び交付金は、個人番号カード交付事業費交付金の請求額が見込みより少なかったためであります。

以上で市民生活部所管の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 続きまして、説明をお願いします。

平下会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（平下義之君） それでは、出納室所管部分について説明をいたします。

実績報告書の27ページを御覧ください。

6目 会計管理費の決算額は2,093万25円であり、前年度に比べ1,097万円の減であります。これは電算関係委託料のうち、総合収納システム開発業務委託1,543万円が減ったことによるものです。

以上で出納室所管の部分の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 続きまして、説明をお願いします。

相羽監査委員事務局長。

○監査委員事務局長（相羽敏明君） 続きまして、監査委員費について説明をいたします。

実績報告書の41ページを御覧ください。

6項1目 監査委員費のうち決算額は約2,170万円で、対前年度比84.8%です。主な内訳は、監査委員の報酬と監査委員事務局職員の人件費であります。監査の実績につきましては、定例監査、例月出納検査及び決算審査などを実施いたしました。

以上で監査委員費の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） それでは、資料ナンバー4の説明をさせていただきます。

第5次総合計画、まちづくり指標、数値の変化が分かるものというものでございますので、お手元の資料ナンバー4、4枚にわたりますが、それぞれ165のまちづくり指標が記載されたものを提出をいたしました。2年ごとにそれぞれ指標が表示されておりまして、右側のほうに達成状況、こちら、右から3列目、現状値、こちらが最新の値になりますが、これに対しまして、その隣の令和2年度のめざそう値に対して、既にこのめざそう値を達成しているものにつきましては二重丸、また、達成に向けて上昇傾向にあるものは丸、未達成のものを黒三角という表示をしております。全体としましては、165の指標に対しまして、114の指標が二重丸または丸という状態で、69.1%がそういった状況にあるといったものになります。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 以上で説明は終わりました。

2款 総務費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の25ページの2目 秘書人事管理費の職員研修についてなんですけども、受講者数の合計が昨年度よりもかなり減っておりまして、特に専門研修のところは、昨年度は、これ、278人だったのが95人まで減っているんですけども、その辺りの理由をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） こちらの減少につきましては、30年度まで主査級以下の全職員を対象としておりました研修が30年度で終了しましたので、それに影響して人数が減ったものでございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

一色委員。

○一色美智子委員 今のところなんですけども、今、林委員も言われたように、なくなった研修、新しく行った研修などありますが、全体的に、ここだというか、全体的に減になっていますけども、その要因はお伺いさせてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 先ほどお話ししました研修が3年間で全員を受講という

ことを対象にしておりましたので、1日に、通常ですと1回開催して何人という研修の持ち方なんですけど、この30年度まで行ってきた研修に関しては、1日2回開催してそれを複数日ということで、かなり多くの人数を短期間で受講させたということが要因と考えております。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

一色委員。

○一色美智子委員 ここの一般教養研修のメンタルヘルス研修についてお伺いします。

職員のメンタルがちょっと気になるんですけども、これ、内容はどのようなことをされたのかお聞かせください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） こちらの一般教養研修のメンタルヘルス研修は、係長以下の職員を平成27年度から5年間で全員に受講をしていただくものでございます。令和元年度で5年目で係長以下の職員の受講が終了ということになりました。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

一色委員。

○一色美智子委員 内容をちょっと聞かせて、どういうことをされたのかなというのを。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） こちらは外部の講師によって、講義形式の内容で行っております。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

青木委員。

○青木 亮委員 同じ実績報告書の25ページなんですけども、一番最下段の、新たに職員を採用する場合に、最近の動向というのか、受験率、並びに今年の場合はコロナの影響で職員がなかなか集まらないというような状況かと思うんですけども、職員採用のいわゆる状況をちょっとお伺いしたいんですけど。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 職員採用の状況ということでよろしかったですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員）　そういうことで結構です。

○秘書広報課長（馬場千春君）　令和元年度の職員採用につきましては23名です。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員）　青木委員。

○青木　亮委員　何名募集があったんですか。何名受験というのか、申込みがあったんですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員）　お答え願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君）　後ほど、数字は今ちょっと手元にございませんで、後ほど。申込みがあった人数ということでよろしかったでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員）　はい。後ほどお願いします。

ほかにございせんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員　実績報告書の31ページ、2款11目　市民活動推進費の2番、市民提案型まちづくり事業とコミュニティ提案型まちづくり事業ですが、これはどれだけの応募があって、どういった内容の事業が採択されたのか。二、三点、2つ、3つ教えてもらえますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員）　答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君）　市民提案型まちづくり事業ですが、一般コースは応募6件のうち、採択が4件です。ビギナーコースも応募6件のうち、採択が5件です。ヤングコースは応募1件で、採択が1件でした。

内容のほうは、一般コースですと、豊明ギタークラブさんとかが高齢者の活性化を図ってギターによる演奏を行ったり、ビギナーコースですと、パステルさんというところが発達障がいのある子どもの居場所づくりなどに取り組んでおります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員）　ほかにございせんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　実績報告書の11目の市民活動推進費で、1番目の協働推進計画事業で協働ラベリング調査を実施したというふうにあるんですけども、これ昨年度、平成29年度も実施して、平成30年度もやっておりましたけども、変化は何かあったんでしょうか。市民協働が進んだ部分等、あればお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 協働ラベリング事業につきましては、昨年とあまり変わりが無いのが現状です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 その関連で、協働ラベリング事業についてお伺いしたいんですけども、要は市民参画ということですので、受け入れる市の側が受け入れるという体制を取らないと、なかなか市民活動団体が参画していくのは難しいんじゃないかなと思うんですけど、市民協働課なり、あるいは部内で、そういう市の方針に対する何か働きかけとか、そういうようなことはしておられるんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 協働ラベリング調査を行った結果なんですけれども、協働推進委員からもごとう委員の言われたような御指摘がありまして、今年度、このラベリング調査を基に、各課協働ができそうな課に対してヒアリングを行って、より市民との協働を図るように計画をしております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の31ページの市民活動推進費の5番目の市民活動情報誌なんですけども、これ、昨年度の実績報告書だと1,200部発行しておりました。今回320部とすごく少なくなっています。1,200部発行されてどれだけ配布できたのかということで、今回なぜこんなに減らして発行したのかということをお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 「コラボ」の発行につきましては、1年ごとに冊子の発行となっております。冊子は、去年が冊子でしたので320部、予算の範囲内で作らせていただいています。その前の年は冊子ではなくてチラシのような形のものの発行となっております。より広くたくさんの方に周知をさせていただくという形で配布をしております。

配布の部数につきましては、申し訳ございません、ちょっとおととの資料が手元にご

ございませんので、今お答えすることができません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ここで、昼食のために午後1時までの休憩といたします。

午後零時1分休憩

午後1時再開

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。
馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 先ほどの青木委員の質問に対して回答させていただきます。

令和元年度に採用した職員の採用試験時の応募者は全部で152名です。

それと、一色委員の質問に対する回答の追加をお願いします。メンタルヘルス研修の内容ということでしたが、こちらの研修につきましては、メンタルヘルスの知識を学びまして、ウェブサイトを利用してメンタルヘルスチェックアンケートなどを行いました。講師は藤田こころケアセンターの臨床心理士でございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 引き続き、加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） 郷右近委員から資料要求が出された資料ナンバー6について、簡単に説明をさせていただきたいというふうに思います。

税の滞納のうち債権管理課で扱った件数ということで、件数でいきますと1人につき期別で計上しますので、その抽出はしておりませんで、実人数でお答えしたいというふうに思います。

市税滞納者数、令和元年度の決算ですので令和元年6月1日現在、これは出納閉鎖の日のその次の日、6月1日現在がその年度で一番滞納者数が多くなる計上というふうになりますが、これが3,389人、これ、国民健康保険税も含んでおります。令和元年度差押え件数ですが、全部で808件というふうになっております。差押え物件につきまして、順に多い順から記載をさせていただいておりますが、預金、給与、不動産、生命保険、所得税還付金、その他ということで売掛金、賃料、年金ほかということにさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） それでは、質疑のある方は挙手を願います。

鵜飼委員。

○**鶴飼貞雄委員** 実績報告書の29ページをお願いします。

中段辺りに前後駅のバス待合所事業とありますが、ちょっと待合所ではなくて、ひまわりバスのことを伺います。

下のほうに利用者数が前年度比に対して結構減っていますよと。路線等々も変えた、大幅に変えたということもあるんですけども、何がこれ、影響しているのか、分かる範囲で教えてください。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** 答弁願います。

中村課長。

○**企画政策課長（中村泰正君）** ひまわりバスの利用者の減につきましては、まず1つは、3月にコロナの影響で利用者が減少したことが1つ挙げられます。それからもう一点は、沓掛地区にチョイソコが開始されたことに伴いまして、その利用者が減少に大きく影響していると考えております。

終わります。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** ほかにございませんか。

林委員。

○**林 ゆきひろ委員** 今のひまわりバスの件で、ひまわりバスに係るまず事業費が、29年度からどういう金額になっているかということと、あと、併せて利用人数も29年度からどういうふうになっているか、お願いします。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** 答弁願います。

中村課長。

○**企画政策課長（中村泰正君）** それでは、29年度から順に事業費のほうを申し上げます。29年度が4,774万9,818円、30年度が4,779万195円、令和元年度が6,750万9,240円となります。

終わります。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** 中村課長。

○**企画政策課長（中村泰正君）** 利用者は、29年度が18万2,314人、30年度が18万4,677人、令和元年度が16万7,459人となります。

以上です。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** ほかにございませんか。

林委員。

○**林 ゆきひろ委員** まず、ひまわりバスの事業費で、令和元年度が極端に増えているんですけども、その理由をお願いします。

○**決算特別委員長（宮本英彦議員）** 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） 大きく2つございます。1つは、従前と違う点で、スタートの時刻表が1時間半ほど早くなったということと、あと、終わる時間も8時まで運行するようになりましたので、まず時間が延長になったことが挙げられます。それからもう一点は、運転手不足というような状況もありまして人件費が上昇した、この2点が大きな要因と考えております。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それから、その下のチョイソコのほうの、これも事業費と人数の推移をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） 29年度はまだ未実施でございますので、30年度、利用者が41人、事業費が40万円、令和元年度が、利用者が1万13人、事業費が1,200万円となります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 チョイソコのところなんですけれども、今の事業費は当初予算よりも大分増えているんですけども、当初予算のときに国・県のほうから480万円頂いてやりますよというような話だったと思いますけども、国・県からはどれぐらい来ていますでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） この1,200万円につきましては事業費となりますので、国・県から来ているものにつきましては、基本的には車両の購入費、これ昨年度、30年度でしたかね、の決算のときにも上げておりますが、車両購入費等については補助金を使って行っておるところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、車両を増やすために別に決算額があるということですか

ね。どこに当たりますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） このチョイソコ事業につきましては、創生交付金については、本年度対象となっている金額が、37ページですね、決算書37ページの下の段の上から2段目、地方創生推進交付金ですね。974万1,000円のうちの513万5,175円、こちらが対象となっている金額でございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 頂いた資料の4番のまちづくり指標について、ちょっと中でお聞きしたいと思います。

ページ数が5ページのめざすまちの姿ナンバー26の中にあります3、行政の透明度評価値という欄があります。基準値がBBで、めざそう値、令和2年度がBBBとなっておりますが、元年度がバーになっている理由と、あと、これはこういった形でこういった透明度の評価をするのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） こちらの評価、現状値につきましては、日経等のそういったところが全国で調査をした結果のものを指標として取り上げておったんですが、そういったものが、事業者のほうが行わなくなったことによりまして、ここにつきましては横棒という形にしております。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 決算報告書の81ページの庁舎等営繕工事費とありますが、これ、昨年より1,400万ぐらい増えているんですが、内容としては窓口の工事、修繕をやっていると思うんだけど、ほかにもう少し詳しく教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） それでは、庁舎等営繕工事の窓口改善の部分の工事の御説明をさせていただきます。

工事の内容につきましては、旧市民コーナーのところにありました場所を閉鎖しまして、そこに住民票や戸籍・税証明をワンストップで発行できる証明書発行の窓口の設置を主としまして、あと、庁舎の案内板ですね、各課の上についている課名、あと、業務内容が書いておるもの、あと、エレベーターから正面玄関から入ったりしたところの各課の課名、そういったものの看板を統一性があるものに改修をさせていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書31ページ、市民活動支援事業の4、コミュニティ助成金についてですけども、大根区の250万円は理解できるんですが、中川の自治会公民館の新築事業の1,500万円、これの補助金の上限は幾らなのかと、33ページの集会所の改修補助事業との違いを教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） コミュニティ助成金につきましては宝くじの助成を受けて行っている事業で、公民館の新築、これは工事費の2分の1になります。それから集会所、33ページの集会所改修等補助事業、こちらは補助があるわけではなくて、市の一般のほうで支払っている金額となります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 上限は幾らでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 後ほどお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 続きまして、ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書の26ページで広報費ですけども、ここには載っていないんですけども、新年とか、それから、つい最近も新聞にこのくらいの記事で豊明市をPRするような記事が載っているんですけども、そういうのは広告費として、金は出さずに新聞社が無料で載せてくれるということなんでしょうか。かなりのスペースを取っているのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 無料のものもございいますが、有料でお金を支払うものも

ございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 関連で。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 有料の場合はどんなもので、どのぐらいのお金を支払われたのか、令和元年度についてお尋ねします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 後ほどお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 後ほどお願いします。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 先ほどの堀内委員の御質問の回答になります。

コミュニティーセンターのほうの補助なんですけれども、すみません、訂正をさせていただきます。総事業費の5分の3以内、1,500万を限度としての補助となります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の24ページです。契約検査事業、公共工事の入札や契約に関してですが、市内の公共工事で市内受注のパーセンテージ、過去にこれ、お聞きしたんですけれども、過去3年間の推移が分かりましたらお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 件数でいきますと、29年度が76.6%、30年度が75.8%、元年度が82.9%です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 先ほどのごとう委員の回答ですが、決算書の75ページの真ん中辺りよりやや下といますか、上段区分の下から11行目のところに広告料とございます。7万3,280円の支出がございますが、こちらが新聞広告の広告料となりまして、8回分の金額になります。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

青木委員。

○青木 亮委員 実績報告書の36ページの徴収費の一番最後ですけれども、滞納管理システム集約改修事業ということで、1,900万という高額なお金を使ってシステム改修が行われているんですけども、年々市税収入も上がっています。これによって上げていただく、内容的にはどういうことですかね。例えば税と料が一遍に、個人税の税と料が一遍に見えて、滞納があればそこへ充当するような、そんな形を取るんですかね。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） この滞納管理システムの集約改修事業は、税と国民健康保険税と、あと市税、あと介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料について、1つの滞納管理システムにまとめてそれを見るようにできるようにして、収入があるとそれに消し込まれていく。つまり収入が充当されていく。税算上分かるようになっていく。そして、例えば保育料とか介護保険料、税等が3つとも滞納されている方は、3つとも一緒に差押え等ができるようにする、そういうふうな内容の事業でございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書33ページ下段、区長会事業の3、地域一括交付金の交付についてお尋ねします。

地域一括交付金の分配方法は面積割と人口割と聞いていますが、多い行政区と少ない行政区、それぞれ上位と下位の3区ずつほど教えていただけますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 一括交付金の多いほうが3つ、少ないほうから3つということで。多いのが、一括交付金多いのが西沓掛区、それから次が館区、次が阿野区が上位3区になります。少ないほうの区は、二村台4区、二村台1区、二村台6区という順になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 今の一括交付金のちょっと関連で、同じ実績報告書の33ページの区

長、間違えました。結構です。いいです。取り消します。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 取消し。今の発言、取り消します。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績報告書の27ページ、会計管理費のことですが、予算よりも決算額が減になっていますのは、ここに合った合理化が図られて減になったということでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。もう一度お願いします。

○近藤郁子委員 決算額が予算額よりも減になっていますが、それは合理化が図られて減になったというふうに考えていいのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 回答願います。

平下室長。

○会計管理者兼出納室長（平下義之君） 電算関係委託料という新しいシステムを開発する負担金なくなったもので、安くなったということです。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書35ページ、13、防犯対策費の1つ目、自主防災ボランティア団体に対して、帽子、ベスト、発光警戒棒等のパトロール用資材を提供しと書かれていますが、個人で活動されている人にも配布されているものなののでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） こちらのほう、団体のほうに市のほうから支援させていただく事業となります。個人のほうで活動されている方につきましては、その御近所のほうで地域のほうの団体に所属していただければ、そこで支援を受けることができるんですけれども、団体としては5人以上の団体のほうを対象としています。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほど資料要求が認められませんでしたけども、秘書課管理人事費、25ページのところでですけども、残業時間の多い人と少ない人、10人ずつというふうで資料要求しましたけれども、3人でいいですので、多いほう3人は何時間で、少ないほうは何時間かというのを教えていただきたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） それでは、令和元年度の時間外の多いほうの上位の3名の時間数です。一番多い方は539.5時間、2番目、511時間、3番目、495時間です。少ないほうはゼロです。3人ともゼロとなります。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 たしか厚労省の指導で、年間300時間じゃなかったですか、何か上限があったと思うんですけども、これ、この多いほうの人は上限を超えておるんじゃないかなと思います、昨年度もかなり多かったんですけども、そういう改善についてはどういふふうな取組をされましたでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 月に45時間、年間360時間を超えている場合につきましては、各所属で分析及び検証しまして、その報告書を人事のほうに上げてまして、人事のほうで客観的な意見書を付してまたフィードバックして、課の中で平準化できるかとか、業務応援ができるかとかいう意見をつけて改善に向けております。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績報告書の35ページです。防犯対策費の中の、防犯カメラ新設2区分とありますが、申請が2区あっただけだったのでしょうか。それとも2区分の先着とか、そういったことで2区になったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 2区から御申請のほうがありました。その中でも1区につきましては1区で2基、もう一区につきましては1基なので、合計3基のほうを設置しております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

一色委員。

○一色美智子委員 実績報告書の32ページ、男女共同参画推進事業の女性の学習参加型支援講座なんですけども、「ら・し・く」の春講座、秋講座とあるんですけども、かなりこ

れ、人員が減っていると思うんですけども、これ、なぜでしょうか、伺います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 「ら・し・く」の講座は令和元年度に見直しを行いました、今まで春講座3回は1回ずつ申込受付をしていたものを、令和元年度は3回連続講座としたものですから、昨年度は累計、今回は3回連続で受講された方の人数となっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

一色委員。

○一色美智子委員 続いて、その下のLGBT理解促進事業なんですけども、この参加人員と参加者の意見・感想はどのようだったか、お聞かせください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） LGBTの研修ですけれども、令和元年度は合計約1,100名の皆様に受講していただいております。感想としましては、学生さんのほうは初めからLGBTに対する差別の意識というのはほとんどない方が多くて、あまり研修を受けた後も前も変わらないというような意見が多かったです。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の33ページの外国人向けメール配信サービス事業です。同じ37ページの表の下に外国人者数の内訳がありまして、令和元年度は3,363人外国の方がいらっしゃるといことで伸び率も年々増えています。この中で33ページのメール配信ですね。これ、登録者数というのは順調に上がっているんでしょうかね。対比が分かれば登録者数を教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 外国人向けメール配信サービスの登録者数は23名となっております。減少傾向にあります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 24ページの契約検査事業のところをお願いします。

2つ聞きたいんですが、まず1つ、工事ごとの契約額とか落札率とか、そういった一覧表についての資料請求が認められませんでしたので、ここでお聞きしますけれども、全体というわけにもいかないの、落札率の高いほうから、3つでいいですので、事業名、金額、落札率と、それから業者名、教えていただきたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 高いほうの一番高いのは、落札率が100%で、工事名が渡り廊下塗装修繕工事。契約額でよかったですか。

（金額と業者名の声あり）

○財政課長（萩野昭久君） 契約額が313万2,000円で、業者名は寺島塗装店、2番目が99.97%で、工事名が道路側溝改良工事、これは市道阿野30号の工事になります。契約金額が770万円で、業者が毛受組です。3番目が99.87%で、工事名が同じ道路改良工事、これは市道新田63号の工事になりまして、契約額が1,188万円で、業者名が、こちらも毛受組になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今の事業でいいですので、工事は終わってから検査係はきちんと検査をして評点をつけておると思うんですが、今の3つの工事についての評点は何点になっていますでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） まず渡り廊下なんですけど、評点は78.8です。2番目の阿野30号のところなんですけど、81.1点。新田63号のほうは77.9です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 実績報告書の33ページ、お願いします。

中ほどの多文化共生推進事業の中で、外国籍市民向けの窓口電話対応事業について、通訳の方、そして電話通訳、そしてタブレット・翻訳機、3つ対応していただいているんですが、電話通訳を使った使用頻度がもし分かれば、そして、いろんな国の方がたくさんい

らっしゃっていますけれども、これで対応が十分だったかどうか、お聞かせいただけますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 電話通訳につきましては3月に導入をしておりますので、3月現在は5件という件数だったんですけれども、8月、今年度の8月については80件の利用がありました。外国語対応については、十分ではないまでも、ある程度できていると考えます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書43ページ、中段の交通安全推進事業の5つ目、区長等要望により交通安全看板の設置と事故防止に努めたと書かれていますが、これは一般の人や学校関係者ではなく、区長要望だけだったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） こちらのほうの要望につきましては、区長要望のほうを載せております。31年度につきましては、年間で39件のほうとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の33ページのさっきの外国人の対応のところ、タブレットの翻訳機のほうの月に大体何回ぐらい使用したかという、その月の平均使用回数というのとは分かりますでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） タブレット翻訳機につきましては、使用回数のほうの集計を取っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） そのほか、ございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の36ページの2目 徴収費で、口座振替制度とコンビニ

収納の実施率をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） 令和元年度のコンビニ収納の件数、実施率ですかね、実施率は全体に対して17.8%、口座振替については23.1%。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の30ページの10目 市民相談費の広聴事業ですが、市長への手紙やファクスやeメールでどんなような内容が来ているか、差し支えなければ教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 市長への手紙、ファクス、eメールにつきましては、手紙につきましては、主なものは道路の補修整備など、また草刈りなどであります。ファクスにつきましては、ひまわりバスの時刻表についてというものです。eメールにつきましては、コロナの関係がございましたので、教育関係のものであったり、駐輪場や信号機の設置であったりとかいった内容であります。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

青木委員。

○青木 亮委員 関連ですみません。今の質疑と同じなんですけれども、eモニターというのが始まっていますけど、これ、150名が限度ということで、報酬のほうをみますと3万9,000円、非常に少ないんですけれども、何人今登録されてみえるのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 令和元年度の登録者は138名です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 失礼しました。続けてください。

○秘書広報課長（馬場千春君） 報酬の対象者は78名です。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところなんですけども、eモニターのところ、アンケート7回やっているんですけど、これの回答率というのはどれぐらいなのでしょう。その全登録者数からして。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） それぞれ全体の回答率ということですか。

後ほどお答えさせていただきます。すみません。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） じゃ、後ほどお願いします。

ほかに。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 27ページの会計管理費をお願いします。

これ、前年と比べて大きく減ってしまして、前年に約1,500万かけて総合収納システムというのを開発したというふうにありますけれども、さっきの収納の関係の質問とひょっとしたら同じなのかもしれませんが、この会計管理費を使ってこのシステムを導入したことによって、どういう効果があったかということの説明いただきたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

平下会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（平下義之君） 収納方法の多様化に対応したり、公金決済システムのセキュリティーを強化することによって強化するということです。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 2款1項8目 地域公共交通活性化協議会負担金です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ページ数を。

○郷右近 修委員 ページ数が、ちょっとお待ちください。ページ数が80……。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 何の80。

○郷右近 修委員 決算書の86、87ですね。2款1項8目 地域公共交通活性化協議会負担金です。

先ほども質問ありましたが、チョイソコの実証実験の検証項目に登録人数や利用の件数があったと思います。先ほどは多分利用した人の数があったと思うんですが、登録した人が昨年度の狙いどおりに増えているのでしょうか。それから、利用金額が設定されていて、もちろん財政上のある程度目安みたいなものを持って計画が立っていると思うんですが、運行中の乗り合いの人数などにも目標があったり、また、その達成度合いなんかがあった

らお答えをいただきたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） まず、チョイソコの登録者につきましては、これ、令和元年度ということになりますので1,682名、これは3月末の段階で1,682名の登録がございました。利用につきましては先ほど申し上げたとおりですが、特に目標とかそういったものではなくて、1,200万円という負担金につきましては、これは利用者によって大きく変動するようなものではございませんので、停留所の数によって、4か所ありましたので、それで1,200万円ということで、特段目標等の設定はございません。

以上で終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 チョイソコの経営状況のことなんですけども、去年の補正でしたかね、駐車場の負担金を、成績が芳しくないで引き上げるといような補正がありましたけれども、経営状況はどのようになっておるんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） 昨年、いわゆる算定の基準を、今、公共の4か所で1,200万円というものから、いわゆるタクシー事業者等の運行費とか、そういった実際に係るオペレーション費用とか、そういったものに切り替えるようなことは先日委員会等で説明をさせていただいたとおりで、切り替えたのは経営が芳しいということではなく、今1か所、公共施設に停留所を1か所増やすと、大体今までの試算ですと年間300万円ほど上がっていくので、今後停留所を増やしたときにどんどん上がっていくから、実態に応じたものに変更するというふうに切り替えたものでございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 ということだと、かかる経費と、それから、この事業による収入の昨年度の実績を教えてくださいたいと思いますけど。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。時間かかる、よろしいですか。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） こちらの実績は、私どものほうから、チョイソコにつきましては毎月100万円の負担金を払って1,200万円を払っているという状況で、それは、例

えばチョイソコを使った歳入ですね、いわゆる、運賃、運賃につきましては既に差し引かれた状態で行われているという状態でございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 ということは経費対収益の関係で、黒字になっているかどうかということは分からんということですかね。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） こちらは事業者のほうが実際運行主体者でございますので、私どもが把握している範囲で申し上げますと、実際かかっている経費は1,200万円以上かかっている状態で実証実験を行ってきた次第でございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

青木委員。

○青木 亮委員 決算書の91ページの2款1項11目の一番最後ですけれども、区一括交付金が4,740万8,770円ってなっています。で、実績報告書の131ページの11目 市民活動推進費の下から2つ目、区一括交付金の金額は4,392万7,990円、この差は何でしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野市民協働課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 131ページの補助事業等の名称の区の数につきましては、100万円以上のもののみ数えた数字と金額となっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 先ほど清水委員からの御質問のeモニターの回答率ですが、全体で64.5%になります。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の36ページの2目 徴収費、先ほど口座振替とコンビニ収納の実施率をお聞きしましたけれども、口座振替のほうが平成30年度よりも下がっておりまして、加入の促進を図ったというふうなんですけれども、これは口座振替が減っている

理由がコンビニ収納に動いているのか、その理由をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） 数字を分析しますと、口座振替の数字が減って行って、割合が減って行って、コンビニ収納のほうが増えております。ですので、コンビニ収納のほうに移っているのではないかというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 先ほどの続きなんですが、昨年度はチョイソコは、先ほどととっても、決算書の86、87ページで先ほど質問した地域公共交通活性化協議会負担金の続きなんですけど、4期にわたって分割しながら検討と制度上の変更を行いながら改善を図っていった感じが協議会の資料で分かるんですけど、目的には高齢者の外出の機会をつくったり、あと、障がいのある方の外出の機会といったようなことで幾つか目的を持ってやっているとは思いますが、これは車の台数などのようなボリュームを増やすことだったり、あと、運行の時間なんかを改善すると解決できるような見通しが例えばつかめたりしたのか、それとも移動のルールというふうに書いてあったんですけど、そういう中身のルールなんかを変えなければいけないというのは、昨年度1年間でどういう様子か、分かったでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） まず、台数につきましては、当初開始の段階から3台を上限ということは公共交通会議等で申し上げてきましたので、実証実験を行う過程の中で、今現在は2台、経費等々を考えまして2台が妥当だというふうな形の結論に立っている、そういう状況でございます。

それから、そういった台数に制限がある中で、移動のルールとか範囲等々をどんどん広げていきますと、当然2台で運行できない、いわゆる予約ができないような方が増えてまいりますので、そういった2台でしっかりと対応できるような必要があるということで現状のルールとなっております。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の31ページの市民交流センター事業、真ん中ほどの市民交流センター事業ですけれども、肝煎りでフリースペースを作ったということで始めた事業ですけれども、フリースペースの利用者数は月平均大体どれぐらいだったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） フリースペースは平均一月170人ぐらいと把握しております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 その前の29ページの、先ほども質問がありました、上のほうのまちづくりアンケート調査事業なんです、ふじえ委員の請求でアンケート調査の結果が出ておりますけれども、こういった結果に基づいてどういうふうに対応をしているのかということ、なるべく具体的に御説明をいただきたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） 結果につきましては、もちろん事業、それぞれ実施計画等で3か年の事業を行っているわけですが、そういったものについて変更等、改めて違った事業を行うといったことも1つの手段であるということが言えます。それから、このまちづくり指標そのものは、御存じのように、いわゆる役割期待値というのがそれぞれ決められておまして、いわゆる行政だけでなかなか達成できないといったこともございますので、そういったことも踏まえて検討をしていきたい、いっておるような形を取っております。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 関連で。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 結果を分析してそれぞれの課で対応しておる、それを企画課のほうで把握しておられると思うんですが、これで事業変更をした件数とかですね、廃止した件数、そういったものは把握をしておられるのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） こういったものにつきましては、毎年行っております経

営方針とかそういったところで、部内でしっかりと調整をしていただいて、そういったことで行政評価等を行っておりますので、そういった過程を含めて対応をしておりますので、我々のほうで特段個々の事業を、これをやめた、やったというところを、これの評価に基づいてそういうことが行われたかどうかについてのことは行っておりません。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 ということは、こういう調査をしても企画課としては、何事業これで変更になったかとか、何事業廃止になったかとかという、そういう数値はつかんでいないということなんでしょうか。それで進行管理を、総合計画の進行管理をしていることになるんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） いわゆる進行管理そのものは、行政評価等を通じて経営方針のほうにしっかりと織り込んでいただいて、また、実施計画等で新たに事業を行って進捗を図っているということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 どうもよくイメージが分からないので、具体例で言いますけれども、例えばこの調査結果の7ページの下のほうですね、37番目、一番下の段、37番目の1番のところで、将来に夢を持っている子どもの割合というのが載っております。基準値は68.9%。それから、ここには載ってありませんが、昨年は、昨年度で見ると64.4%、昨年度かその前の年ですね。そして、この令和元年度の数字は62.7%と年々下がってきているんですが、こういうことに対してどういう、具体的にどう分析して、どのような対応を立てているんでしょうか。政策を評価するためにこのまちづくり指標が設定してあると思うんですが、どのようにやっておられるんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

中村課長。

○企画政策課長（中村泰正君） こちらにつきましては、今、委員が言われたのはめざすまちの姿として当然ありますので、その中に、実施計画の中ではいろんな事業費がひもづいているわけでございます。ですので、そういった事業を行って、その成果、あるいは来年度以降どういった方針で行っていくのかということ、行政評価を通じて、必要なも

のについては予算措置をして行っていくということで、達成に向けて行っていくという状態を取っております。その結果が、先ほど申し上げました、おおむね5か年の目標に向けて、約7割程度進んでいるという結果につながっているものと考えております。

終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 市民協働、実績報告書の31ページの下の方の6のコミュニティ備品の貸出・整備ですけれども、こちらのほうで、日付が重複して抽せんみたいになって貸し出せなかったことというのは、31年度はありましたでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 回答願います。

水野市民協働課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 重なるのは、主に夏祭りの関係で重なるんですけども、昨年度におきましては、一応抽せんは行ったんですけども、抽せんを行って外れたところと当たったところが調整をしまして、貸出しがされないようなものがないようなお話しで終わっているかと思えます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 資料請求をした資料ナンバーの6のお話を聞きます。

滞納者数が国保も含めて約3,400人ということですけど、当然全ての滞納者が債権管理課案件に該当するわけではないということなので、こういった下の差押え件数になっていると思うんですけども、これ、下は差押えの件数なんですけど、滞納者の中で、そもそも債権管理課での督促なりの対応を特別にやっていく、ピックアップされた件数というのは何件だったかは分かるでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） 分納等が約束されて納付されていない方に対して、全員特別催告書を送っております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 差押えの中では、現金、お金、預金など以外に、給与や売掛金、賃料、

年金なども見受けられます。本来的に差押えが行われることによって、その当事者の生活だったり、例えば事業者だったら事業が継続が困難になるような場合は、一方的な差押えをしてはならないという運用ルールであったように思うんですけども、昨年度は私が知るだけでも売掛金が、本人が自覚していない状況で差押えがされた件がありました。そういったことで、売掛金や給与など、こういったものが差し押さえられた件数はそれぞれ分かりますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

加藤課長。

○債権管理課長（加藤健治君） 給与につきましてはこの中で68件、売掛金につきましては8件。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて2款……。

取り消します。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 33ページをお願いします。

上から3分の1ぐらいのところのシェパトン市の（2）のところですけども、友好都市市民派遣事業の補助金を交付したとあります。従来は市の主催であったものを、民間の事業にして補助金を出してということなんですけど、事故のことが心配だということで昨年一昨年も申し上げました。市催、市主催事業にすることを検討するという答弁でしたけれども、どうなったのでしょうか。元年度はこれ、補助事業を交付したということは主催にはなっていないということですが、その後どうなったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） シェパトン市への市民派遣の補助金なんですけれども、こちらは主催のTIRAさんと打合せをさせていただきまして、補助事業のまま継続というお話になりました。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 TIRAの主催ということになると、これ、派遣される団長1名、そ

れから教師2名と書いてありますが、この方たちは、教師はまさか教師としての公務で行くわけではないだろうから公務災害の対象にならないと思いますし、団長ももちろんそうだと思うんですが、何か事故があった場合、責任を問われた場合の補償はどうなるのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 事故があった場合の補償につきましては、団長と引率教師の分につきましては、T I R Aさんのほうが保険に加入をしてみえます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 大勢の子どもたちを連れていきますので、何人も例えば亡くなって、何億円というような補償を請求されたりとか、そういうことがあり得ると思うんですが、その保険の内容はそういうことに対応できるような状況になっておるのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

水野課長。

○市民協働課長（水野美樹君） 申し訳ありません。保険の内容については確認をしております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） そのほか、ございますか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて2款 総務費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために10分間休憩といたします。

午後1時56分休憩

午後2時6分再開

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、3款 民生費について説明をお願いします。

伊藤健康福祉部長。

○健康福祉部長（伊藤正弘君） それでは、3款 民生費の決算について説明させていただきます。実績報告書は44ページからとなります。

3款1項1目 社会福祉総務費です。決算書でいいますと112ページとなります。決算額は8億394万5,258円で、前年度より7,455万2,445円の減となります。減額の主な要因でござ

ございますが、次ページ、45ページ上段の国民健康保険特別会計繰出事業、6項目合計が5億9,868万9,745円でございますが、前年度に比べて8,956万356円の減となっているものであります。

続いて、2目の老人福祉費です。決算額は8億483万7,288円で、前年度より5,060万円余の増となっております。増額の主な要因は老人福祉センター整備工事費で1,537万3,340円の増、さらに次ページ、46ページ下段の介護保険特別会計繰出事業、これの6項目合計が7億659万7,934円で、前年度に比べまして2,863万6,268円の増となっているものであります。

続いて、3目 心身障害者福祉費です。決算書は120ページとなります。決算額は12億4,507万1,374円で、前年度より5,559万6,903円の増となっております。増額の主な要因は、心身障害者扶助事業における扶助費が11億8,382万7,158円で、前年度に比べて8,894万8,446円の増となっているのに対しまして、成年後見センター運営事業委託料が、幹事市が終了したことに伴いまして3,462万4,000円皆減したということによるものでございます。

続いて、50ページの4目 福祉医療費でございます。決算書は124ページとなります。決算額は7億1,822万3,551円で、前年度より397万9,728円の微増となりました。福祉医療助成費7億96万円のうち、子ども医療に係る額でございますが、3億2,354万3,117円となりました。

続いて、5目 後期高齢者医療費でございます。決算額は7億7,388万5,627円で、前年度より882万4,163円の微減となりました。

51ページをお願いいたします。2項の児童福祉費、1目 児童福祉総務費でございます。決算額は20億5,072万3,089円で、前年度より4,040万2,256円の増となりました。増額の主な要因でございますが、児童福祉事務事業における扶助費であります心身障害児通所居宅サービス事業費が、利用の拡大によりまして前年度に比べて2,834万1,821円の増。また、児童手当が約2,000万円の減となった一方で、児童扶養手当が4,735万2,160円の増となったことなどによるものでございます。

続いて52ページ、2目 保育園費です。決算書は130ページからになります。決算額は23億830万905円でございますが、前年度より6億1,841万3,772円の増となりました。増額の主な要因は保育園営繕工事費で4,769万4,840円の増、施設型・地域型保育給付事業費補助金で3億7,535万1,000円の増、私立幼稚園就園奨励費補助金で3,936万9,600円の皆増、施設等利用費で1億162万7,973円の皆増となったものでございます。引き続きまして、保育環境の整備向上に努め、かつ幼保無償化により決算規模の拡大になったということござ

います。

続きまして、53ページの下段、3項 生活保護費、1目 生活保護総務費でございます。決算書134ページとなります。決算額は7,095万5,480円でございます。前年度より3,788万1,246円の減となりました。減額の主な要因は、前年度の臨時事業であります生活保護システムの更新に伴う電算関係委託料が1,125万7,996円の減、また、国費の精算を年度間で行います返還金において、前年度に比べ2,572万3,235円減したことによるものでございます。

続きまして54ページ、2目 扶助費でございます。決算書は136ページとなります。決算額は6億1,648万7,130円で、前年度より4,107万4,179円の減となりました。被保護世帯、人数共に前年度に比べて減少となったことによるものでございます。被保護世帯でございますが、延べ3,200人だったものが2,965人へ、被保護の人数は、延べで4,248人だったものが3,819人となっております。

次に、予備費充用について御説明申し上げます。実績報告書の9ページの下段になりますが、こちらを御覧いただけますでしょうか。

予備費充用は、民生費の児童福祉総務費において、かねてより宮繕工事を重ねて対応してまいりましたコスモス児童館の雨漏りにつきまして、緊急的に調査を行うために150万7,000円予備費から充用をさせていただき、執行をさせていただいたものであります。

最後に、3款における不用額でございますが、各特別会計への繰出金、また、各扶助費における執行残が主な要因となっております。

以上で、民生費についての説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 以上で説明が終わりました。

ただいまから3款 民生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

服部委員。

○服部龍一委員 事業報告書の53ページの先ほど説明のあった生活保護費の生活保護総務費、こちらの金額が昨年比べて約3分の2ぐらいに減っているということなんですけれども、これの効果は、事業委託による効果があってこれだけ下がっているのかということろをちょっとお尋ねします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） 先ほどの説明を繰り返す形になりますが、65.2%に下がっております。こちらのほうは4,000万円近くの減額になりますが、1つの要因といたし

ましては、前年度、システムのほう、生活保護システムをクラウド型のものに構築委託をしまして、それで1,000万ほど昨年度は多かったということと、あと、昨年度、国庫返還金の額が今年度より2,500万円ほど多かったということがこの減額の要因となっております。クラウド型の生活保護システムに変えましたことについては、国で統一された生活保護システム体制のほうにより円滑に進むようになったということで、事務の簡略化に進んでおります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） そのほか、ございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の46ページ、49ページ辺りなんですけど、2目の老人福祉費と心身障害者福祉費の中で、昨年度、避難行動要支援者事業をされていまして、今回は実績報告書に人数がないんですけれども、令和元年度の対象の人数と名簿の登録者数をそれぞれお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） まず、こちらに上げていないのは、昨年度調査事務をしていないというところでございます。

人数のほうにつきましては、ちょっと今すぐに手元が、手持ちがありませんので、また後ほどお答えをいたします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 後ほどお願いします。

ほかにもございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の、同じページですね、45ページの老人福祉センター運営事業についてお聞きします。

同じ実績報告書の116ページのところで指定管理料も出ているんですが、老人福祉センター指定管理料1,032万8,536円で、前年度から47万円余増額しております。また、今、45ページの運営の利用状況のところでは軒並み数字が下がって、イベントというところだけ上がっているんですが、軒並みこの利用状況が減しているんですけれども、その辺の理由をお答えください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） まず金額、委託料につきましては、昨年度から指定管理

者が変わって違うスパンに入っているというところがございます。

それから、利用の人数が減っているということにつきましては、まず1つは夏場に、補正予算で上げさせていただきましたが、エアコンの工事をしております。その部分で利用がちょっとできない時期が、部屋として部屋単位ではありましたので、その部分だけのものが減っているということ。それから、あと2月26日から対コロナ対策ということで、入場のほうを一応お断りするような形を取っておりますので、その分の減ということでございます。

あと、イベントのところの人数が増えているというところにつきましては、前年度まで文化会館で行っていた老人展を施設の中でやったというところで増えているというところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

一色委員。

○一色美智子委員 実績報告書の49ページ、ヘルプマーク配布事業についてですが、このヘルプマークの作成枚数と配布枚数をお聞かせください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） ヘルプマークにつきましては、県のほうが作成したものを購入する形となっております。令和元年度の配布数につきましては323個、当初から累計すると681個になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書131ページをお願いします。

補助事業補助金なんですけども、一番下の放課後児童健全育成事業補助金、こちら2つの施設のほうにあります。これの内訳を教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 太陽クラブが430万円。430万円です。ドリームクラブのほう710万1,000円です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 鵜飼委員。

○鶴飼貞雄委員 この額なんですけども、国が用意しているプランに準じてこの金額になっているという理解でいいでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） おっしゃるとおりです。補助金の対象の事業の中で、基本額だとか、処遇改善だとか、キャリアアップだとかというものを積算根拠に補助金を交付しております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書の50ページをお願いします。

福祉医療費で資料の受給者等対象がこの表に載っております。これまでは、これに幾らかかかったかということが概要のほうに載っておりましたが、今回その金額はここには載っておりませんので、金額をそれぞれ教えていただきたいと思います。各医療対象者ごとに。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） それでは、金額を申し上げます。子ども医療費で3億2,354万3,117円、それから心身障害者医療で1億1,202万1,063円、母子・父子家庭医療で4,128万9,664円、それから精神障害者医療で6,988万7,897円、後期高齢者医療で1億5,126万4,274円でございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の52ページになると思うんですけど、2目 保育園費の中で、病後児保育室「えがお」の開設からの年間の総利用人数、それから、年間の事業費をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

二宮課長。

○保育課長（二宮眞由美君） まず、利用人数のほうをお伝えします。平成28年度が66人、平成29年度が42人、平成30年度が48人、令和元年度が47人です。ここに充てている職員ですが、利用のないときは二村台保育園のほうに職員がいますので、ここだけの事業費というのはなかなか出しにくいので、申し訳ないですが、出していません。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の117ページの児童館7館分の指定管理料ですね、指定管理料がこの3つの委託業者名が並んでおりますが、足すと9,653万8,013円で、これも対前年度で増加になっています。この理由と、あと利用状況、児童館の利用状況はどのようになっていますでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） まず、上段のポピンズにつきましては、消費税の増額分が上がっております。4年間と同額の金額の委託金額ですが、令和元年度につきましては後半分が消費税の増額分です。併せて二村台、セリオ・ALSOKビルサービス、日本保育サービスにつきましても、それぞれ消費税増額分が当たっております。

児童館の人数なんですけれども、後ほどお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 後ほど答弁願います。

そのほか。

○子育て支援課長（川原静恵君） 委員長、全体の数でいいでしょうか。

全体の数ですと6万462人です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの病後児保育室「えがお」でなんですけれども、風邪が蔓延している日など、入れない日というのはあるのか、どの程度あったのかどうか、お願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

二宮課長。

○保育課長（二宮眞由美君） お断りする方は見えませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

青木委員。

○青木 亮委員 実績報告書の53、54ページなんですけど、まず、53の3項1目の生活困窮者自立促進支援事業と、次の54ページ、ひきこもり対策というのは非常に力を入れておられるんですが、この事業費が、委託で、117ページの一番最下段で、社協のほうに3,500万ほど委託料払っているんですが、この事業内容というのはどのようなものか教えていただ

けますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） 生活困窮者自立生活相談センターよりそいということ
で、市役所社会福祉課の中に相談員が3名で常駐して対応しております。内容につきましては、生活に困窮する方の相談に応じまして、相談者が抱える課題を包括的に受け止めて、
情報提供や助言を行う内容となっております。今ですと住居確保給付金の受付ですとか生活
困窮の一般的な相談、それから食料支援の申請等を受け付けております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） よかったですか。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） 豊明市ひきこもり相談窓口のほう、はばたきについて
御説明させていただきます。

こちらのほうも市役所社会福祉課のほうに相談員が2名常備しておりまして、ひきこも
りに関する相談、それから居場所づくり、それから、ひきこもりサポーターの活動支援等
を行っております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じく、ひきこもり対策推進事業についてなんですけども、件数が
かなり増えていますが、このうち解消した件数だったりとか就労につなげた件数など、
お願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） 平成30年度に新規のケースが51名、昨年度につきましては27名
ということで、これまでに78名の方と対応しております。本人と会えたケースに
つきましてはそのうちの35件となっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書です。決算書の132、133、3款2項2目 保育園費の施設型・
地域型保育施設整備補助事業です。

未満児が中心ということですが、新設の保育園の整備事業ということで、従来の待機児童が昨年度でどれくらい改善したかという実績値はあるでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

二宮課長。

○保育課長（二宮眞由美君） 令和元年度の4月1日現在の国基準の待機児童は6名みえます。あと、潜在的には72名がいて、全てを解決したわけではありません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） そのほか、ございますか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところ、実績報告書だと53ページになると思うんですけど、実績報告書53ページの保育の下のほう、施設型・地域型保育給付事業整備補助事業で、私立の保育所と認定こども園の新設によって次の年度以降の定員枠を拡大させたということなんですけども、この31年度に拡大させた、次の年度に対して拡大させた人数というのはどれくらいなんですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

二宮課長。

○保育課長（二宮眞由美君） 2か所で222名が増えましたが、東部さんが68名みえましたので、154名が増になりました。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 今、同じところなんですけども、事業的には国費が当たるという予算だったと思うんですが、これ、国費、どれくらい当たったんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

二宮課長。

○保育課長（二宮眞由美君） 保育所等整備交付金で、決算書の40、41ページになりますが、3億6,362万4,000円が当たっています。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） そのほか、ございますか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 報告書52ページ、上段の家庭相談員による相談事業とありますけれど、これに家庭相談員は3名と書かれているんですけども、相談件数の数とかも多いし、実

際相談員になる資格というか、そういうものはどういう方がなられているのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 社会福祉士等が当たっています。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） よかったでしょうか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 3名とも社会福祉士の方ですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 幼稚園の先生だったり、社会福祉士、それと学校の先生の資格がある方です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） よろしかったでしょうか。

そのほか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 決算書の127ページの右の下から4行目の母子家庭等児童記念品、これは何を配られたのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 図書カードになります。小学校と中学校の入学時と中学校の卒業時にお渡ししているものになります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほど児童館の全体の利用数がありましたけれども、去年は各児童館ごとの利用者数が概要に載っておりまして、これは把握しておきたいので、各児童館ごとの利用者数、各児童館ごとの年間の開館日数と利用者数を教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） それでは、中央児童館1万9,149、開館日数が307、二村児童館1万9,339人、264日、南部児童館が1万4,075人、264日、北部児童館が5,126人、289日、西部児童館が1万1,765人、269日、ひまわり児童館、2万3,325で264日、コスモス児童館が2万6,457、264日、大宮児童館が1万6,018人、264日、合計で。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 引き続き、ごとう委員。

○ごとう 学委員 合計もついでにお願いしたいんですけど。

（合計、すいませんの声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 13万5,254人、開館日数が延べで2,180日です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 これは、開館日数が減っているのはコロナの関係でしょうか。何か、とはいうものの、中央児童館は307日で前年と変わりはないようですけれども、この辺りはどういうふうになっているのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 3月は学校の休校に伴い、児童クラブの運営をしています児童館につきましては自由来館は閉館となっておりますが、児童クラブを運営していない北部児童館、中央児童館につきましては開館をしておりましたので、日数が以上の報告となります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 決算書の127ページ、先ほどのいとう委員が質問されたことなんですけれども、母子家庭等児童記念の図書カードを配られたということですが、この金額を教えてくださいいただけますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 26万6,000円になります。

（図書カードのの声あり）

○子育て支援課長（川原静恵君） 1人2,000円です。申し訳ありません。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） そのほか、ございますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 主要施策の成果及び予算執行の実績報告書のページは46ページ、真ん

中辺りの高齢者外出支援事業です。

従来から、基本料金分の券のつづりという形が使いづらいという御意見が間々集まっていたと思うんですが、昨年度の実績で、途中からでもいいんですが、制度運用の変更などはありましたか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 運用としては変更しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書54ページの生活困窮者学習等支援事業で、これ、申込者が45人に対して延べ回数414回開催したということで、計算すると年間1人9.2回の参加になるんですけど、実際1人年間で何回参加できる事業なんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） 申込人数に応じて、あと、希望に応じて割り振るという形になっております。大体週1回から2回の参加をされております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 同じ54ページのすぐ下の扶助費の表ですけれども、先ほどの部長の説明で、生活保護世帯・人員共に減ってきているというのはよく分かりましたけれども、この表で見ていくと、特に減っている、極端に減っているのが、生業扶助が、世帯でいうと前年75世帯が19世帯に、それから、人員が88人が19人というふうに極端に減っていますけれども、これは何か理由があるんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） この54ページの表につきましては延べで上がっております。実質的には生業扶助、件数、高校生になりますが、実績としては2件になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 決算書の131ページ、1目 児童福祉費の上段のほうの心身障がい児通所・居住サービス事業費のところのサービス内容を少し教えていただけますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） サービスを使うに当たっての計画作成や放課後の放課後児童デイ、児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業になっています。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の54ページ、先ほどの生活困窮者学習支援事業のところです。申込者が45人ということですが、これ、定員はあるのでしょうか。また、対象が準要保護世帯また被保護世帯の小学4年から中3までということですが、この対象の何割ぐらいの方が利用されているのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） まず、定員でございますが、100人となっております。対象につきましては準要保護世帯が約250世帯、290名程度となっております。生活保護世帯につきましては8世帯10人ということで、非常に、前後1会場で行っておりますが、なかなか利用しづらいというような御意見もございましたので、昨年度末にアンケートを実施いたしまして、今年度より2会場での開催ということに改善しております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じく生活困窮者の学習等支援事業で、先ほど週1回か2回とすると大体年間50回から100回ぐらい参加できるんですけど、平均だと9.2回になっているんですね。これ、実際申し込んでほとんど参加できていない、そういうような方というのはいるのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） 中にはそういう御家庭もございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 決算書の115ページ、国民健康保険特別会計繰出事業で出産育児一時金等繰出金が昨年より400万円ぐらい増えているんですけども、これは子どもの数が、出産が増えたということで理解していいですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） そうですね、おっしゃるとおり、昨年度、令和元年度と、それからその前、平成30年度とを比較しまして、支給した件数、被保険者が出産した件数が増えていたために支給額も増えたものになります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 何名ぐらい増えているんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 出産育児一時金の支給件数で、平成30年度が43件、令和元年度が56件でした。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の45ページ、2目 老人福祉費の、先ほど触れました老人福祉センターの工事の関係で利用者が数字的には少なかったよということです。その工事なんですけど、たしかエアコンがつかない間暑いので、扇風機をリースするという話があったと思いますが、実際何台の扇風機をリースしてお幾らだったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 結局、扇風機につきましては、実際工事のほうで4ブロックに分けて、大きなくくりの4台でという形で、順に使いながら工事をしていったということ、それから、一部、部屋の閉鎖とかをして進めていったということで、ちょっと利用制限もかけた形になっていまして、結局使わないで何とか持ちこたえたという形で進めております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書のページは45です。老人福祉費の高齢者住宅改修補助事業、

この支払い方法についても受領委任払いの形になっているかどうかというのを確認したいんですが、いかがですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） こちらにつきましては、介護保険の部分の上乗せという形でやっている部分でありまして、この部分については委任払いにはなっておりません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の138ページ、工事の一覧の2目 老人福祉費の一番上です、坂部の老人憩いの家の改修工事なんですけれども、126万3,600円ということでした。下の閲覧の市民コーナーで見ましたら、契約金額が122万400円ということだったんですが、その記載がないんですけれども、これは記載漏れということで訂正でしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 確認いたします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） それじゃ、後ほど回答願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の補助事業の131ページの補助金についてなんですけど、3款 民生費の真ん中、中段にあります社会福祉法人の社会福祉協議会に出されている補助金で、社会福祉協議会に様々な委託事業を出されているんですけども、この補助金はどういった内容なのか。補助金が昨年度とまた少し違うので、どういうふうな積算をされているかというのをお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） どういった内容にということにつきましては、地域活動計画に基づきます6分野30事業ということで割り振られております。地域福祉推進から始まり、ボランティア活動の推進ですとか、長寿福祉社会づくり等々に当たっております。独自事業といたしましては子ども食堂ですとか、コロナ禍においての走る子ども食堂、それから南部地区社協、山の神集会所で実施しております。それと、福祉団体の支援ですとか、災害ボランティアセンターの設置等を行っております。

金額の割り振りににつきましては、12人分の職員の人件費と、あと事業費につきまして314

万ということになっております。以上です。

金額が上がっている、積算の上がっているものにつきましては、12人分の人件費の金額が変わってということで対応しております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

浅井課長、先ほどの回答。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 先ほどの回答でお願いいたします。

まず最初に、林委員からいただきました要支援者の関係のものです。登録数としては2,127件、そのうち実際名簿に記載している部分としては1,950件という形になっております。以上です。

それからもう一つ、先ほどのふじえ委員からの御質問のところでございます。大変申し訳ございません、こちら、変更工事をしておりますが、ちょっとここの記載が漏れておるということでございます。実際、最初の工事につきましては1,220万4,000円、そちらのほうで変更工事を行いまして、こちらに記載があります1,263万6,000円でございます。

大変申し訳ございませんでした。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書の44ページをお願いします。

ちょっと細かいことですが、真ん中の表がありまして、民生委員の活動状況、この表のちょうどまた真ん中辺りに生活費188件というふうになっております。全体の件数は前年と変わっておりませんが、この生活費のところだけが、前年が284あったのが188ということで相当減っていて、むしろ今、増える傾向にあるんじゃないかなということなんですが、これ、特に減ってきた理由について御説明をお願いしたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） この実績につきましては、あくまで昨年度のものでございます。188件につきましては、99名の民生委員さんがそれぞれ月々の報告を出したものを集計したのとなっておりますので、例えば1区で1件とても相談が多い方がいらっしゃると、急に100件ぐらい跳ね上がったとか、急に100件ぐらい下がったとか、そういう状況によるものです。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

すみません、ちょっと林委員のを取り消します。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） すいません。先ほどの私の訂正、ちょっともう一度訂正になってしまうんですが、桁をちょっと間違えてお読みしていたようです。元の契約金額が122万400円。それから変更後が126万3,600円、先ほどの坂部の老人憩いの改修工事でございます。ちょっと訂正をさせていただきます。申し訳ございません。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの避難行動の要支援事業についてなんですけども、先ほどの件数というのは高齢者のほうで、心身障がい者のほうの人数は何件あるんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） こちらのほうも1年ごとに調査を、案内と登録を行っております。ですので、令和元年につきましては実施は行っておりませんので、その前のときのデータになりますが、身体障がいの方168、療育が68、精神が7件ということで、合計243件が登録となっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 改めて、浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 先ほどの私が申し上げました登録数というのは、障がいのほうも混じった金額になっておりますので、よろしく願います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 委託事業で116ページ、実績報告書の116ページの真ん中辺りの電算関係委託料で、避難行動要支援者台帳機能の開発業務ということで550万委託されていますけど、この台帳機能の開発によって今回この数字が変わるのか、どういう開発の業務なのかというのを願います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） こちらにつきましては、この作業はもともと職員が内製で作ったシステムで運用しておりまして、このたびウインドウズ10に移行するパソコンではちょっと動かないという形になりましたので、新たに開発をしたというようなことにな

ります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書の52ページをお願いします。

一番上の家庭相談員による相談事業、先ほどどなたかの質問がありましたけれども、この説明文、最初の部分の後ろのほうを読んでいくと、近年著しく増加している虐待というふうに書いてありまして、虐待が増えているように書いてあるんですけども、下の相談件数の内訳を見ると、児童虐待、これ、疑いも含めてという意味ですかね、1,313件。これ、前年度は1,747件、その前の年は2,091件ということで、だんだん、かなり減ってきておるんですけども、これも何かカウントの仕方とか、何かそういうような問題なんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） この相談件数の上げ方につきましては、社会福祉行政報告に基づいて上げているものになります。虐待の件数なんですけども、いわゆる相談件数があつた場合、必ずきちっと受理会議をし、心理判定員も含めた形で実態をより把握している状況になっております。そのため、安易に虐待を疑いというよりも、子育てが困難になっている家庭が多いというようなことだとかで割り振っているような状況になりますので、集計が少し精査されて、より実態に合わせた形の集計になっているというふうになっています。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じく相談員の相談事業についてなんですけど、その他という件数が非常に今回多くなっているんですけど、その他というのはどういったものがあるんでしょう。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 先ほど少し申し上げましたが、福祉行政報告に基づいた分類になっています。そうしますと、どうしても子どもの相談の件数の割り振りが多くなり、それ以外はその他にどうしても上がってきてしまいます。内容としましては、家族間のことだったりだとか夫婦間のこと、あと親自身の相談、あと、関係機関からの連絡な

どの相談をこちらに、その他に上げているので多くなっています。

以上です。

あと、すいません。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 先ほど堀内委員への御質問の中の家庭相談員の資格なんですけども、もう一度繰り返しますと、社会福祉士と幼稚園の先生と、学校の先生というのは長く養護学校の先生のお勤めされていた方になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書の46ページです。利用者助成事業です。私が何か勘違いしていたら御指摘願います。

社会福祉法人が自分たちの法人独自の仕組みで、これ、利用者に助成をするということだと思うんですけど、以前お伺いしたときに、たしか市内の法人だとそういう制度を運用しているところはなかったように思うので、この利用者というのはどこか市外の施設利用者ということでしたか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） この対象としましては、社会福祉法人愛知県厚生事業団というところに支出しております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） そのほか、ございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 決算書の119ページ、老人扶助事業の高齢者運転免許証自主返納支援事業負担金なんですけども、令和元年度から幹部交番で免許証の返納ができるようになったと思うんです。件数的には増えていると思うんですけども、件数と状況等、お聞かせください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 返納につきましては、前年度よりもかなり増えております。前年度は件数としまして81件だったものが、今回、令和元年度につきましては231件ございました。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 決算報告書の129ページの下から7行目、子ども会補助金。

（決算書の声あり）

○いとうひろし委員 決算書、決算書。の172万3,333円は、これ、子ども会の均等割でしょうか。各子ども会の。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 均等割になっています。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 何か所でしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 50の子ども会になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書の、実績報告書のというか、これ、質問についての質問なんですけど、幼保無償化の損益の資料を今日請求したんですけど否決されましたので、幼保の無償化の豊明市としての損益というと、交付税とかいう歳入も関わってくるし、幼稚園も関係してくるのかな。なので、これは、あれですかね、ここじゃなくて後の総体のところを出したほうがいいですかね。委員長に。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 私。

○ごとう 学委員 後で、総括的な質問のところを出したほうがいいでしょうか。幼保無償化の豊明市としての損益。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） またがっていますので総括で。今でいい。

それでは、今のほうが適切らしいですので、二宮課長、お願いします。

○保育課長（二宮眞由美君） 幼稚園につきましても、元年度、昨年度から保育課のほうに対応しています。それは幼児教育・保育の無償化になった関係で、一緒に今現在やっていますので御説明をさせていただきます。

まず、公立保育園について、どこが変わったかという点、決算書でいうと一番最初の31ページを御覧ください。

まず、保育園運営費負担金、上段のところにあります。ここが公立の保育園と民間の保育園の負担金になります。ここについて、まず、幼児教育の無償化で半年分減額になっています。まず、公立保育園分については8,292万6,420円が昨年度より減額になっています。ここの部分の私立の保育所（小規模）につきましても1,402万9,810円減額になっています。

歳入で、もう一つ、公立保育園につきましても、保育料が無料になった3歳以上の方の保育園給食費の実費徴収が10月以降始まりました。そちらは59ページ、決算書の59ページを御覧ください。5項の雑入のところの4 雑入で、保育園給食費徴収金の保育園給食費実費徴収金というのがあります。これが公立保育園の給食費、副食費になります。これは増額、逆に増額したものです。公立保育園について、昨年度と比較すると、歳入で比較すると、6,480万4,740円がマイナスになっております。

次に、私立保育園と小規模保育所等についてお話しさせていただきます。

歳入は、先ほど言った保育園運営費負担金の10月、3月の無償化に伴い減額がありました。さらに、ここに私立保育所、小規模保育所については、子どものための教育・保育給付費国庫負担金、ページでいうと37ページ上段の子どものための教育・保育給付費国庫負担金になります。こちらは昨年度と比較すると2,260万6,636円増額になっております。これは保育料で親御さんからもらわなかった、歳入が少なかったため国庫負担金として増額になっております。

次に、施設型教育・保育給付費等県費負担金、ページでいうと43ページになります。43ページの下段の4段目、4升目になります、施設型教育・保育給付費等県費負担金8,684万9,552円、昨年度より423万7,158円の増額になっております。これも先ほど言った、保護者からの歳入が少なくなったために負担金は増えております。

歳出ですが、施設型・地域型保育給付費、保育園費の133ページを御覧ください。133ページの下から2行目、施設型・地域型保育給付費になります。こちらのほうは4億5,954万874円になっております。これは利用人数の増加のためになります。こちらのほうは、元年度につきましても、歳入から歳出を引き算するとマイナス1億2,208万424円になります。平成30年度はこの数字がマイナス1億2,987万6,794円で、市立保育園、小規模保育所のこの差につきましても、豊明市としては負担が減っています。歳入、元年度と30年度を比較すると779万6,370円、マイナスが減っていることになります。ですので、私立保育所、小規模保育所については無償化は大きく影響はしていないと考えています。

私立幼稚園、認可外保育所等です。これが、先ほど部長が最初に説明した、全て皆増に

なっているものになります。まず、歳入ですが、子育てのための施設等利用給付費国庫負担金、こちらは37ページに当たります。37ページの上段のところになります。2段目で、子育てのための施設等利用給付費国庫負担金が幼稚園分になり、5,351万4,120円です。これは10月からの無償化に伴うものに当たるものになります。幼稚園就園奨励費補助金、こちらのほうは4月から9月分のみになります。30年度は学校教育課のほうが主管課で、2,769万4,000円をお支払いをしておりました。

次に、子育て支援施設等利用給付費県費負担金、ページでいうと43ページになります。こちらは219万3,000円、県のほうから幼稚園の一時預かりと認可外の預かり保育分になります。

その下の私立幼稚園授業料等軽減補助金、こちらは県の補助金になります。ページでいうと47ページになります。3升目の一番下のところの私立幼稚園授業料等軽減補助金です。こちらは2,508万60円が無償化に伴って県から入ってきた歳入になります。

市のほうで歳出したものについて説明をします。

歳出、私立幼稚園就園奨励費補助金、ページでいうと133ページになります。133ページの一番下に私立幼稚園就園奨励費補助金、こちらのほうが3,936万9,600円お支払いをしています。昨年度比較してマイナス4,409万9,500円減額されています。こちらが、減額されたのは無償化に伴うものです。幼児授業料補助金46万5,500円をお支払いしています。これは135ページの一番上を御覧ください。幼児授業料補助金46万5,500円です。こちらも30年度は学校教育のほうでお支払いし、93万1,000円でした。マイナス46万5,500円で、4月から9月分のみなので無償化の影響はあります。施設等利用費、こちらのほうは同じ135ページの5行目になります。施設等利用費1億162万7,973円、こちらが10月から3月の幼児教育・保育の無償化に伴うもので、各幼稚園にお支払いをしたものになります。幼稚園についての歳入と歳出を比較するとマイナス4,755万2,893円あります。これらのマイナスのところなんです、保育園につきましては先ほどマイナスが1億2,200万近くあり、約半分が、前半は影響がなくて後半が影響あるのが約半分6,000万近くと、歳入で公立保育園分の減額された6,400万、それから私立幼稚園で4,700万の市が負担している分、3つありますが、種類、そちらについては子ども・子育て支援臨時交付金で充当されていますので、今年度につきましては全て国の交付金、歳入で賄われているという状況になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員）　ここで、1時間経過しましたので、10分間休憩とさせていただきます、20分から再開をいたします。休憩とします。

午後3時9分休憩

午後3時19分再開

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

質疑のある方は挙手を願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほどは丁寧な説明、ありがとうございました。

幼保無償化は昨年度の途中から始まっておりますので、私が知りたいのは、平年ベースでこの幼保無償化で、豊明市は得をするのか損をするのかと伺いますか、持ち出しが増えるのかどうなのかという、その辺りに絞って取りあえずお答えをいただきたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

二宮課長。

○保育課長（二宮眞由美君） 元年度を見ていると、歳入が合計的に、歳出を引くと2,000万ぐらい増、2,000万ぐらいが歳出のが少ない状況です。それは消費税増額分の支援臨時交付金があてがわれたということが1つあります。

今後につきましては、消費税の増額分がここには充てられるというふうになって、2年度にどうなるかというのはちょっと想像が付きませんが、本来的には消費税の増額分でここは補われていくというふうに考えています。ですので、大きくの変化はないというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 細かいことで申し訳ないですけど、決算書の119ページの一番上、老人関係のところですけど、これは憩いの家の改修の関係のところと思うんですけど、一番上に補償というか、そんなようなのが1万7,000円ほど上がっているんですけど、これは何だったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） こちらにつきましては、実はAEDの補償金になります。何が起こったかと申し上げますと、荒井の老人の家の、AEDのほうは一応リースでお借りしている形になっておるんですけども、荒井の老人憩いの家の屋外に置いてあるAED機が実は盗難に遭いました。ですので、この部分につきましては、警察にももちろん届出をして、その分だけを解約した形になっております。ただ、解約するときの、一応動産保険に

入っております。そちらから下りている部分、それから、あとそれを解約した後の金額等、差し引いた上で、この1万7,556円という金額が不足している形になっておりますので、そちらを補償金としてお支払いをしたというような形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 決算書120ページ、121ページです。

心身障害児者扶助事業ですけれども、実績報告書のほうにも施設入所の利用状況、書いてありますが、最近施設を利用している方から、障がい児の方ですけれども、そこから学校に通ったりする都合上、自分のニーズに合致する事業者がなかなか見つからないというお話を聞いたことがあります。昨年度のこの実績、利用実績などから、人数に対して十分な施設誘致などができているかどうかという点についてはいかがでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

近藤課長。

○社会福祉課長（近藤有紀子君） 障がい児の入所施設で学校に通っているという御質問だったかと思いますが、障がい児の入所につきましては県の措置になっておりまして、市から何らから給付費が出たりとか、サービスを利用する形とはなっておりません。

それと、今の障がい者施策のほうでございまして、できる限り地域で自立へという方面になっておりまして、大人の方の入所についても地域で生活するように国のほうも政策の方向転換をしております。ですので、市もそれに沿いまして、グループホームですとか、あるいは在宅での生活をできるような支援策のほうを強化しております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 先ほどの答弁の続きでしょうか。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 訂正させてください。

先ほどいとう委員が言われたところの129ページの子ども会補助金についての説明をもう一度させてください。訂正させてください。

こちらは豊子連合会にお支払いしているもので、単子数としては先ほど御回答とした、特に50単位になっています。それは均一の金額になっていますが、併せて事務活動費として97万3,333円、1万5,000円掛ける50単子分に事業活動費ということでお支払いをします

ので、豊子連合会のほうにお支払いしている補助金になります。失礼いたしました。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて3款 民生費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午後3時24分休憩

午後3時28分再開

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、4款 衛生費について、順次説明を願います。

伊藤健康福祉部長。

○健康福祉部長（伊藤正弘君） それでは、4款 衛生費の決算につきまして、健康福祉部所管のものについて説明をさせていただきます。

実績報告書56ページからになります。4款1項1目 保健衛生総務費でございます。決算書は138ページとなります。決算額は9,844万3,795円で、前年度より83万6,384円の増で、ほぼ横ばいとなっております。

続いて2目の母子保健費でございます。決算額は2億4,721万3,872円で、前年度より1,804万3,523円の増となっております。増額の主な要因は、乳児及び妊婦検診委託料で743万4,679円の増、予防接種委託料で418万8,350円の増となっているものでございます。

57ページ、3目 健康推進費でございます。決算書は142ページとなります。決算額は2億2,880万1,592円で、前年度より766万1,011円の増となっております。増額の主な要因は、風しん抗体検査・予防接種委託料で1,018万6,538円の皆増となっております。

59ページの下段、5目 保健センター運営費です。決算書は146ページとなります。決算額は826万9,684円で、前年度より103万7,862円の減となりました。減額の主な要因は光熱水費で、前年度より44万1,392円の減などとなっております。

続きまして60ページ、6目 休日診療所運営費です。決算額は2,366万337円で、前年度より54万134円の減となっております。減額の主な要因は医薬材料費で、前年度より75万6,726円減となったことによるものでございます。

以上で、4款 衛生費のうち、健康福祉部所管の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 続いて、説明をお願いします。

宇佐見経済建設部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） それでは、4款 衛生費のうち、経済建設部が所管します決算概要を実績報告書に基づき説明をさせていただきます。

実績報告書58ページをお願いします。

前年度比約215万円の増額です。主な事業として豊明市住宅用地球温暖化対策設備等設置費補助金交付事業、いわゆるエネファームの設置に対して補助をしました。実績は15件で75万円の補助をしております。

狂犬病予防対策事業では、狂犬病予防法に基づき、狂犬病予防注射及び登録のための集合注射業務を市内3会場において実施しました。実績は213頭でありました。

合併処理浄化槽設置費補助金交付事業により、生活排水による河川等の水質汚濁防止に努めました。なお、平成31年度から補助対象を変更しまして、単独浄化槽及びくみ取り便槽からの転換についての補助となっております。これは愛知県の補助対象の変更に併せて実施したものであり、実績は6基でした。

59ページをお願いします。

地域環境保全活動・教育啓発推進事業ですが、9月14日に市内の親子42名が参加して、皆瀬川において水生生物調査を実施しました。

次に、60ページをお願いします。

7目 公害対策費です。前年度比約49万円の減額です。これは大気環境常時測定局の再検定及び普通騒音計の再検定費約89万円と、平成30年度に新たに作成した生活排水対策推進計画の約127万円の差額が主な要因です。主な事業としまして、公害対策事業として生活環境を保全するため、河川等の水質調査を実施いたしました。

次に、61ページをお願いします。

2項1目 清掃総務費です。前年度比約4億219万円の減額です。理由は、東部知多衛生組合の負担金が約4億483万円減額となったためでございます。これは2市2町で構成する東部知多衛生組合への負担金です。新ごみ処理施設建設事業が平成30年度で終了となったためです。

次に、資源回収については、区町内会及び子ども会に分別収集をお願いし、奨励金を交付しております。

次に、62ページをお願いします。

2目 塵芥処理費です。前年度比約1,870万円の減額です。前年度に堆肥センターの解体工事があったため減額となっております。主な事業として、塵芥処理事業では市民から出される可燃ごみ・不燃ごみの収集運搬を行いました。また、清掃事務所では、粗大ごみの受付業務と玄関先への戸別有料回収を実施しております。

3目 し尿処理費です。決算額は前年度とほぼ同額です。主な事業はし尿の収集処理であります。

以上で、経済建設部で所管いたします4款の説明を終わらせていただきます。

ここで、併せてちょっと回答漏れのあったものを御回答させていただきたいと思います。

午前中の歳入で、ごとう委員から御質問の回答漏れについての回答です。決算書の63ページ、雑入の家電製品協会助成金207万3,000円についてですが、これは不法投棄の未然防止活動に対して協会から助成されるもので、環境監視員の人件費や看板やシールの作成費用、不法投棄された家電リサイクル対象品のリサイクル料金を負担してもらえる助成金でございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 続きまして、馬場市民生活部長、お願いします。

○市民生活部長（馬場秀樹君） では、お願いいたします。

4款 衛生費のうち、市民生活部所管の説明をさせていただきますので、実績報告書の59ページをお願いいたします。

中段辺り、火葬場使用件数であります。火葬場等使用委託料は971万円でありました。火葬場の使用件数は592件、そのうち知立の火葬場の使用は197件で、全体の33.3%でございます。

続きまして決算書、厚いほうの決算書の145ページをお願いいたします。不用額の状況です。

環境衛生費、委託料のうち209万円が火葬場等使用委託料で、知立の火葬場の使用件数が見込みより少なかったことによるものでございます。

以上で市民生活部所管の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 以上で説明は終わりました。

4款 衛生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 決算書145ページをお願いします。

報償費で犬の飼い方教室等講師謝礼とありますが、これ、等とあります。それ以外でも何か支払った先はあるんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） こちらの犬の飼い方教室等の等の部分なんですけども、犬の

飼い方教室として2万円、昨年度9月に実施しました水生生物調査、こちらの講師の謝礼が22万、合わせて24万という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これは恐らく、実績報告書56ページの母子保健費、2目の母子保健費のものだと思うんですけど、ウッドスタートが昨年度開始したと思うんですけど、その件数とそれにかかった費用、金額をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） まず費用ですが、173万2,585円です。実績は395人です。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 決算書の145ページ、環境衛生事業の犬の飼い方教室等、先ほど鵜飼委員も聞かれたことなんですけれども、平成30年よりも元年度、金額が減っていますが、その理由は何でしょう。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 平成30年度におきましては、犬の飼い方教室については同様でございます。30年度につきましては、こちらが、名前が出てこないといけないんですけども、SDGsの研修のほう、こちらのほうがありましたので。すみません、単語が出てきませんで申し訳ございませんでした。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 この金額というのは市費で支払われているものですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 今年度ということによろしいですね。

（はいの声あり）

○環境課長（堅田直寛君） 今年度につきましては、市費、全て市費というわけではございませんで、歳入のほうで、雑入のところに、決算書の63ページをお願いします。こちら

のほうの下のほうに自治総合センター助成金40万というのが、犬の飼い方教室の話ですよ、でいいんですけども、助成金としましてはこちらの自治総合センター助成金40万円、頂いております。ちょっと追加という説明させていただくんですけども、この謝礼以外にも、それ以外にも交通費ですとか広報費、借上料とか、そういったそれ以外の経費等がございまして、全て合わせて42万ほどかかっております。その分を40万こちらのほうで負担しているということで、自治総合センターから頂いておるということで、実質的にはほぼ市費はかかっていないという形になります。よろしく申し上げます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の56ページの母子保健費の令和元年度のふぁみさぼの利用件数、まますぼと、あと臨時保育の利用件数もお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） では、ふぁみさぼが2,036、まますぼが99、臨時保育事業として69、以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

月岡委員。

○月岡修一委員 実績報告書の59ページ、火葬場の使用件数の中で、知立市の火葬場の使用料が、私の記憶では何か大分減っているのかなという気がしているんですが、まだまだ知立の火葬場は重要な位置づけでありますので、もし減っているとしたらどういうことがあるのかということと、過去に知立市と豊明市の職員さんで、火葬場の在り方研究ということで合同研究をしているはずなんですが、その最終的な報告はまだ聞いていないんですね。お互いにどうするのかという、協力して火葬場を造るか、やってきましょうということで、何年かかけてやってきたと思うんですが、そういったことをもし現実に事実があれば、お答えいただければと思いますが。お願いいたします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

杉浦市民課長。

○市民課長（杉浦由季君） まず、知立市の火葬場の件なんですが、前年度より14件減っております。こちらは、委員がおっしゃったとおり、30年10月1日から使用料を改定したのものによると思います。また、知立市の火葬場のほうが、少しの間ですが、改修工事のほう行っておりましたので、またそれも減の要因かと思います。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 馬場部長。

○市民生活部長（馬場秀樹君） 火葬場の検討の件ですけども、令和元年度については、そういった研究だとか話合いの機会というのは持たれておりません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

月岡委員。

○月岡修一委員 部長の記憶違いだと。もうちょっと前です。もっと前です。もっと前に、もっともっと前に研究をしているんです、職員さんが。それはもう記憶にないんですか、こんな大事なこと。我々は最終報告、受けていませんよ。どうされるのか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁できるでしょうか。

○月岡修一委員 できなければ、過去の記憶を一度調査をして、議会のほうに、また全員協議会、そういうときに、大事なことです。お金をかけて研究会開いていますので、その結果をやはりもたらしていただく。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 馬場部長。

○市民生活部長（馬場秀樹君） 一度過去の経緯を勉強させていただいて、また報告の機会をつくります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 では、続きまして、実績報告書62ページ、3目のし尿処理費に関してですが、まだまだくみ取りはそういう御家庭があるので必要かなと思います。そういったことで、その業者の管理、運営管理のために年間1,000万だったか、負担をしていると思うんですが、正確な数字を少し教えてください。し尿を、くみ取り業者がくみ取りだけでは営業が成り立たないと。件数がどんどんどんどん前と減っていくから。そのために、もうやめますよという時期があったんです。それでは豊明市は困るので、その年間の運営に関する費用は豊明市が持ちましようという、そういうふうになっているの、知りませんか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 分かる範囲内で答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 運営に関する資料という形で正式にはちょっと承知はしていないんですけども、こちらの1,800万というのは収集に係る費用ということで、基本的には、今、月岡委員がおっしゃったとおり、し尿くみ取り、まだくみ取りの方はたくさんいらっしゃいます。また仮設トイレ等の、工事現場等の仮設トイレ等もございまして、し尿のくみ取りにつきましては、基本的には最後の、極論でいうと豊明市内の最後の1軒にな

るまでは基本的にはやめないという形が、法律でも合特法とかそういう法律等でもうたわれておりますので、そういった形に沿って私どもは運営しているというふうには理解しております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 もう少し真剣に考えていかないと、本当に豊明市で1軒のし尿、必要な家が残されて、業者が営業すると思いますか。どういう法律が縛っているか知らないけど、業者があれだけのものを抱えて処理するんですよ。たった1軒でも私は責任を持ってやりましょうという業者はいないはずですよ。過去に、やめてはいけない、やめてもらったら困るからと、基本的に一定の金額を保証しているんですよ、豊明市は。それが今でも続いていますか、正確な数字を教えてくださいと申し上げたんです。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 補償という金額は支払っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかに。

月岡委員。

○月岡修一委員 補償と言ったのはそれを、じゃ、くみ取り業者はいつやめてもいいんですか。営業が成り立たないでしょう、現実的に。1軒で成り立つんですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 今おっしゃったとおり、1軒でもというのは確かに、最後の最後までというのはもちろんそういう形になっておりますし、当然ながらその人件費とか車の維持費とか、あと事務所とか、そういったもろもろ経費も当然、1軒だろうが100軒だろうかかってまいります。ただ、それに対して、それを補償するために幾らということでは、そういう形では契約等も特にしておりませんし、今の民間事業者さんと、ごみの収集等も同じ業者さんでやっているんですけども、そういったところも含めて、総合的な考え方で今豊明市は運営しているという形で考えております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書62ページ、2目の塵芥処理費です。2、年間ごみ回収実績量で、塵芥処理費の2の年間ごみの回収実績量についてですが、昨年と比較すると不燃は若

千増加していますが、可燃は62.7トン減少しています。市民の皆さんが協力してくださった結果とは思いますが、減少した要因といますか、何かPRというか、工夫されたのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 今、堀内委員がおっしゃっていただいたとおり、まず市民の皆様のお協力のおかげだと感謝しております。

具体的なPRの方法という形なんですけども、私どもとしましては、ハード面は外国語版のパンフレットを今年度も6か国増やして今10か国語にしております。また、これは多分、他市町よりも多いのではないかと考えております。

また、他市町、自画自賛になってしまうんですけれども、豊明市のマッタマンというPRキャラクター、これは職員が一生懸命やってくれておりまして、自画自賛になりますけど、メディアにも何度も取り上げていただいております。そういったマッタマンの格好をして、元年度、回数をはっきり覚えていないんですけれども、30回ほどのイベントとか説明会の中で10回ぐらいは出ております。これはマッタマン5も含めてなんですけれども、それぐらいの回数を出て、職員が自ら出て、イベント等で紹介していただいたということで、そういったことも含めて、市民の方や児童に強く印象づけたんじゃないかなというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の59ページ、火葬場使用件数の表ですけれども、知立市のほうでは197件ということで、その他が395件、このその他の395件についてのどこの場所かというのを把握しているのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） その他の395件の多い順なんですけど、名古屋市の八事斎場が208件、刈谷市の青山斎園が126件、名古屋市の第二斎場が50件。

以上になります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書の57ページです。もし、答弁を聞き漏らしていたら御指摘

お願いします。

風疹抗体検査、成人男性の事業が昨年度1年間、まず行われて、全体の対象者に対する進捗度合いが何%ぐらいかというところ、それから、抗体を実際持っている、持っていないの様子なんかは分かっているでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 今回、一色議員の一般質問の中でもちょっとお答えしている部分とかぶりますけれども、よろしく願いいたします。

全体、昭和37年から昭和54年の男性の方というところで、全体では9,000人弱、当初は8,916人という形で該当の方がみえるというところで、実際、現状、今の時点では全員の方に一応クーポン券をお送りしているという状況です。

今回の決算に係る部分でいきますと、抗体検査のほうは1,262件、一応行われているというところ。対象のうちの、これ、実際対象が4,600人ぐらいおりますので、対象としては実施率が27%ぐらいですね。その中で、実際最終的に予防接種まで至った方というのが265名みえるというところがございます。その中の21%というところがございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 実績報告書の61ページの資源回収の奨励金ということで一千四百何十万払っているんですけども、この回収した資源はどのように処理をされているのかというのと、もし、これ、売却しているのとなれば、どんな収支関係、どんな感じなのか教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 資源の回収の……。ごめんなさい、もう一度。

（回収したものの処理、どのように処理をされているかの声あり）

○環境課長（堅田直寛君） どのように処理しているかということだと、まずこちらのほう、収集業者のほうから中間、これが中間処理業者になりますけども、ここで中間処理業者が選別等をさせていただいております。そこから、新聞紙とか紙類につきましては紙のメーカーさんですとかそういった事業者さん、アルミとか瓶はそちらのメーカーさんとかそういった形で、それぞれの資源によって行き先は変わって、またリサイクルされるという形になっております。

もう一つが、収支。

売却金額につきましては、こちらは昨年度がこちら、資源の売却ですと、歳入のほうで見させていただいたほうがいいので。売却につきましては単価自体も、奨励金のほうを見ていただきましたとおり、下がってきております。回収量も減っておりますし、単価自体も昨年度に比べて、外国の状況等も含めて、単価自体が下がっているということで減少しております。

ごめんなさい。すいません。ちょっと修正させていただきたいと思います。ごめんなさい。

決算書の63ページのほうです。決算書の63ページのほうに、再商品化事業者拠出金ですとか廃食用油売却金、あと資源売却金、こちらのほうで売却のほうは出ております。ちょっと私がちょっと勘違いした説明してしまいまして、申し訳ございません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の62ページの塵芥処理費の中で、平成30年度から始めた食品ロス削減の食べ残しゼロの推進店、昨年22店舗だったんですけども、令和元年度末の時点での店舗数をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 25店舗という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ちょっと戻るんですが、実績報告書の118ページの火葬場のところの使用委託が971万円で、不用額のところで見込みより少なかったということなんですが、対前年度で見ると74万円ほど委託料が上がっているかと思えます。知立のを使う市民の方は件数は減っているんですけども、これ、委託料が増えたのは、先ほどちらっとおっしゃった、改修工事があったから委託料が跳ね上がったという理解でよかったですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 料金の改定が平成30年10月1日に行われたために、使用料が上がったことによります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 決算書で、ページ数は144、145です。

4款1項4目の新エネルギー推進委員会委員報酬で、FITの買取り価格が2012年の42円から2019年に24円まで低下していて、これまで一度やめてしまった太陽光発電の新エネルギーの補助制度のことをお話ししてきましたが、その当時の理由、購入費の償却なんかを考えると収入増にもはやなってきたのではないかと。時間がたつにつれて情勢も変わってきているように思うんですが、この推進委員会で新エネルギーの様々な導入の議論があると思うんですけど、そういった制度の復活に関して議論は、昨年度、いかがだったでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 新エネ委員会のほうでは、新たな補助制度というのは特に、特に太陽光とかも含めてですけど、ありません。今後やっていく、もし変えていくということであれば、さらに国のほうは、ゼロエネルギーハウスですとか、もっとさらに高度な補助のほうにどんどん移ってまいりますので、またそういった方向に行くのかなとは思いますが、現行ではそういった補助制度に移行するとか、そういった話はございません。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の57ページの健康推進費の中で、とよあけ健康大金星マイレージのまいかの交換枚数と協力店舗数をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） 交換枚数が33件です。それから、市内の協力店舗のほうで24店舗ございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 58ページの真ん中より少し下のところに合併処理浄化槽設置補助金交付事業ということで、前年よりも基数が減っていて、先ほどの説明ですと単独を合併式に

変える場合のみが対象になるようになったというようなお話ですけれども、これまでに合併浄化槽にしてきた累計ですかね、累計が何基になっているのかということと、それから、今後単独を変えていくとすると、単独は今、生産禁止になっておると思いますがけれども、単独で今、市内で何基ぐらいあるかということ把握しておられるのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） 補助件数、全てのちょっと件数を把握しているわけではなくて、最近の数年の、26年度からということでちょっと件数は申し上げさせていただきたいと思えます。

26年度に補助件数が29件で、27年度が19、28が38、29が30、30年度が21で、今年が6ということで、この6年間で今のところ143件という形になっております。これまでの実績という件数ではちょっと出しておりません。ただ、人数ということであれば、合併浄化槽、今募集をいただいているのが4,256名いらっしゃるという形になっております。

もう一つちょっと質問について、もう一度お願いしてもよろしいでしょうか。申し訳ありません。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 単独浄化槽が対象にこれからはなるということですので、単独浄化槽が現在どのくらいあるかということ把握しているかどうかということをお聞きしたい。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

堅田課長。

○環境課長（堅田直寛君） こちらのほうも件数としては把握していなくて、使用人数としては9,931名というふうになっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の56ページの下から10行目ぐらいのところに新生児聴覚検査というのがあるんですけども、これ、平成31年度当初予算の目玉のうちの1つだったんですけども、当初予算が300万で600人対象で、実績としては364件で180万。出生数自体はちょっとカウントするのも難しいかも分からないですけども、これの利用率ですかね、出生に対する利用率、おおよそでいいんですけども、それをお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 今おっしゃられたとおり、出生数のところは把握しているんですけど、4月の出生の生まれた方から対象者となっております。合計が364人なんですけれども、おおよそ7割ぐらいの使用率になっています。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の56ページの母子保健費で、先ほど質問しましたふぁみさぼの利用件数が毎年少しずつ減っているんですけども、その減っている要因はどのように分析されておりますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 実際、窓口に来た方にはいろいろ推奨はしておりますが、その方の事情だったりだとか、あと、ふぁみさぼの提供会員の方がなかなか成り手がなく、いろんな活動の中で広げておりますが、それも要因だと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績の57ページの3目 健康推進費の下の2つのぼつです。糖尿病性の透析だとか、予防のためのCKDの予防教室、開いているんですけど、これ、毎年お聞きしているんですけども、令和元年度のこのCKD予防教室の参加者人数と、その人数は対象者となった方の何割の方がその教室に参加されたか、パーセンテージもお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） CKDの予防教室につきましては、実は年度末頃に実施する予定が、コロナの関係で実際実施ができておりませんので、2回ぐらい予定しておりましたが、実際はちょっと実施していないという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書の57ページの真ん中より少し上のところ、健康推進事業と

ということで、これ、前年度は大変分かりやすい表になっておりましたけれども、今回かなり簡略化されて分かりにくくなっております。何が変わったかという、1つは、この説明文の最初の後ろのほうにあります健康教育相談等、これのどういう内容でやったのかということがなくなっています。

それから、がん検診については、前年度は集団と医療機関の内訳が書いてありましたが、これ、集団も医療機関も、多分これ、合計になっていて内訳が分からなくなっているんじゃないかなと思います。それから、さらに子宮頸がんとかHPVとか妊婦子宮がん等や肝炎ウイルス、そういったものが記入漏れになっています。全部聞くとまた時間かかると思いますので、がん検診の集団と、それから医療機関の人数だけでいいですので、ちょっと教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

浅井課長。

○健康長寿課長（浅井俊一君） こちらは各個別の検診のもの比較しかございませんけれども、そちら読み上げる形になってしまいますが、よろしいでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） それでお願いします。

○健康長寿課長（浅井俊一君） それでは、胃がん検診につきましては、これ、集団のほうです。こちらについては1,253。それから医療機関方式ですね、これもX線につきましては758。あと、同じく内視鏡で1,887。乳がん検診ですが、集団が1,754、医療機関方式が702。子宮がん検診のほうです。集団の頸部が1,528、医療機関方式の頸部が470、同じく医療機関方式の体部が347、医療機関方式のHPV検査、こちらのほうが57件。それから、肺がん検診になります、集団が1,488、医療機関方式が4,520。大腸がん検診です。集団が1,730、医療機関方式が3,727。前立腺がん検診です。集団が455、医療機関方式が2,043件でございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて4款 衛生費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために10分休憩をいたします。

午後4時9分休憩

午後4時19分再開

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、5款 労働費について、説明をお願いいたします。

宇佐見経済建設部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） それでは、5款 労働費の決算概要を実績報告書に基づき説明をいたします。

実績報告書の63ページをお願いします。

1目 労働諸費です。前年度比約472万円の増額です。主な理由は、勤労会館の多目的ホール照明改修工事や人材定着支援事業の実施によるものです。主な事業は豊明勤労会館管理事業で、老朽化した箇所の修繕等により豊明勤労会館の適切な管理に努めました。

以上で5款の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 以上で説明が終わりました。

5款 労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書63ページの人材定着支援事業が昨年度より増えていますが、会社数とか人数とかが変更があればお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 会社数、人数とも変更はございませんが、増額している理由は、昨年度は入社前研修1回だけの実績でございます。今年度は令和元年度に入社した新入社員向けに3か月後研修、6か月後研修、及び人材育成担当者、各企業の人材育成担当者向けの研修、及び令和2年度向けの入社前研修を実施したことによるものです。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

月岡委員。

○月岡修一委員 63ページ、労働費の勤労会館の建築設備定期調査業務委託料の件ですが、誰がどのような形で調査をどの程度行っているか分かりませんが、その内容と、どのような形で調査報告書があるのか。きちっとした用紙が届いて、その内容まで詳しくあれば報告できるわけですが、そういう体制にあるかどうか、そこまで答弁してください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） これにつきましては、建物設備の実施、調査業務を委託

しておりまして、その状況に対しての問題のあるなしの報告がございました。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 私、子どもが、素人が質問しているんじゃないんで、きちっと答弁しなさい。

例えば建物の外壁、屋根、天井裏、そういったことをきちっと点検するのか、目視点検するのか、天井裏まで見てやるのか。40万も金使うんだから、きちっとした仕事させずに簡単に終わるつもりかね。もう一度しっかり答えなさい。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 大変申し訳ございませんでした。

この調査業務委託については、毎年度、設備、例えば附帯設備ですね、その建物に対する、建物自体ではなくて建物に設置されている設備等の調査業務を行っておりまして、それについての調査報告をいただいております。その必要な箇所というのはそれぞれございますけれども、例えばエレベーターではなくて自動ドアの状況ですとか、そういったものを一つ一つ点検をしていただいております。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 エレベーターとか自動ドアは専門業者が毎年点検来ていますよね。それなりにお金払っています、毎年。ここに入っているんですか、その自動ドアのチェックとか。そういった、どこをどれだけ、誰が報告したかというチェックシートか何かないんですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 大変申し訳ございません。

こちらは建築基準法の第12条点検でございまして、法律に定められて調査をしておるものでございます。確かにエレベーターですとかそういったものはまた別の調査をしておるところですけれども、国の法律に基づいた点検をしておるところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 3番の最初の勤労会館多目的ホールの照明改修工事ですけども、これ、

工事の、139ページに載っておりますけれども、今朝言いましたように、この契約の方法だとか、それから工事内容とか、そういったものが今回はこの工事一覧表から抜けておりますので、ちょっとその辺のところをちょっと説明をしてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永巨正君） まず工事内容は、水銀灯及びハロゲン灯が約半分程度切れておりましたものですから、その照明の改修工事でございます。設計金額に対して80.1%の落札率で、5者の指名入札により工事を実施させていただいております。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて5款 労働費の質疑を終わります。

続きまして、6款 農林水産業費について説明を願います。

宇佐見経済建設部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） それでは、6款 農林水産業費の決算概要を実績報告書に基づき説明をいたします。

実績報告書の64ページをお願いします。

1目 農業委員会費です。前年度比約6万円の減額です。主な事業としては農業委員会事務で、農業委員会総会を毎月1回開催し付議案件を処理いたしました。また、農業者年金事務では受給者等の確認調査を実施しました。令和元年度の調査対象受給者は30人です。

2目 農業総務費です。前年度比約196万円の減額です。主な理由は人員配置の変更に伴う人件費の減によるものです。主な事業としては農村環境改善センター管理及び運営事業で、農家の知識向上のための研修や市民向けの農業関連講座を開催し、農家の生活安定、農産物のPRに努めました。

3目 農業振興費です。前年度比約19万円の減額です。主な事業としては、米の生産調整推進対策をはじめ、各種農業団体や新規就農者の育成指導、農業生産技術の向上と経営合理化を図る農産物共進会事業を行いました。

次に、65ページをお願いいたします。

4目 畜産事業費です。前年度比同額です。主な事業としては家畜防疫対策事業、畜産振興事業等の補助を行いました。

次に、66ページをお願いします。

5目 農地費です。前年度比約7,658万円の増額です。主な理由は、農業土木工事費の増

額及び県営事業の負担金の増額によるものです。主な事業としては農業土木工事費で、大脇排水機場主ポンプ整備工事、荒巻池護岸改修工事などを実施しました。また、愛知県が行う大久伝排水機場の改修、及び3排水機場の遠方監視制御設備改修に伴う事業などに対する負担を行っております。

6目 総合整備事業費です。農村集落家庭排水施設特別会計への繰出金です。全額補正減により決算額はゼロです。詳細は農村集落家庭排水施設特別会計で御説明をさせていただきます。

次に、67ページをお願いします。

7目 地域農政推進対策事業費です。前年度比約127万円の減額です。主な理由は、平成30年度に計上していた農業振興地域整備計画策定に伴う資料作成が完了したことによるものです。主な事業としては、農業振興の基本目標を定め、農用地利用計画を策定いたしました。

2項1目 林業費です。前年度比ほぼ同額です。内容は愛知県森林協会への負担金です。

以上で6款の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 宇佐見部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） すいません。またここで、午前中の答弁漏れのことを御答弁させていただきたいと思います。

決算書の63ページ、歳入で、ごとう委員から御質問の回答漏れについて回答させていただきます。

雑入の土地改良施設適正化事業工事費収入1,620万円は、愛知県土地改良事業団連合会からの大脇排水機場主ポンプ整備工事への補助で、土地改良施設適正化の工事を実施する団体に補助されるものです。こちら、愛知県の土地改良事業団体、これ、いわゆる県土連と言われておるところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 以上で6款 農林水産業費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いします。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の139ページの工事のところですが、この農林水産業費の中で4段あるんですが、上から3つ目、荒巻池のこの護岸改修工事についてお尋ねします。

こちらは事業費が3,526万6,000円ということですが、最初の落札した金額より最終的には520万円ほどアップしております。99%から117%の落札が、始め99が、変更工事を加えると117まで上がっています。まず、この増額になった理由をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらの工事については、荒巻池の中に仮設道路を造りまして、その後に護岸改修をする予定でございました。池の水を抜いた後、堆積土層、ヘドロが想定より非常に厚かったことが判明したため、盛土の増大と仮設工として敷鉄板を新規計上したため、増額になったものです。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予想よりもヘドロがたくさんたまっていたということですが、それを全部搬出したという理解でよろしいですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 搬出はせずに、そのヘドロの上に盛土をするために盛土の量が多くなったということです。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 その堆積土層が想定より厚かったということなんですが、これは最初のその調査の段階では難しかったんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 当初の設計の想定では50センチを想定しておりましたが、実際には2メートル以上の堆積があったということです。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 50センチだと思ったのが2メートル以上ということで、1.5メートル以上も想定よりたまっていたということなんですが、それは、工事始める前の調査の段階でヘドロの深さというのは、調査で分かるもんじゃないかなと素人的には思うんですけども、それはどういう調査をされて50センチぐらいというふうに想定したんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらの想定については、池の水が、水利権がありますので、

調査ではちょっと抜くことができなかったということで、そこまでの想定となっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 実績報告書64ページの農業総務費の農村環境改善センターの利用実績ですが、651件、1万618人。農業関係者以外の利用者の状況をちょっと教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 割合としては、令和元年度は農業以外が86%、農業関係者は14%の利用というような実績になっています。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の64ページ、3目 農業振興費で、新規野菜の産地ブランド化事業で、これは令和元年度の主要施策の1つだと思うんですけど、予算では73万4,000円というふうになっていたんですけど、今回その費用17万3,000円ということで、予算よりあまり執行していないような気がするんですけど、その辺りの理由をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） こちらにつきましては、元年度は猛暑と暖冬による影響で出荷期間が、当初の予定では5か月で出荷できるというようなことで計画的に作付をしていたんですが、実際は3か月しか出荷をできる期間がなかったことに併せまして、出荷期間が集中してしまったことに、市場から出荷をできる量を調整をされてしまったために、実際の出荷量が減ってきています。実際、こちらのほうの補助につきましては、資材費用の3分の2を補助するというふうになっているものですから、出荷ができないものには資材を使っておりませんので、その関係で大幅に補助額が減ってしまったということになります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところの関連ですけども、カリフローレの関係ですけども、予算のときには8万袋出荷するというような形の答弁だったと思いますけども、実際の出荷の袋数はどれぐらいだったんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 実際、袋の数でということで算定しますと、1袋当たり150グラムぐらい入れたというようなことにしますと、1万2,500袋が実績ということになります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 清水委員。

○清水義昭委員 分かりました。予算のときには国・県支出金と一財とで半々でということだったんですけども、これは支出に対して国・県と一財は半々だったんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） ちょっと聞き取れなかったので、もう一度質問をお聞きしていいでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） もう一度お願いします。

清水委員。

○清水義昭委員 カリフローレのところの17万円強の支出の国・県と一財の割合を教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 分かったでしょうか。

答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 市が補助団体にしている分については農業政策課のほうでやっているんですが、国・県の補助については企画政策課のほうでやっているものですから、しっかりとした数字は、申し訳ないですが、把握をしておりません。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） しばらくお待ちください。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 失礼しました。

実際に国と県の補助については、市で単独した補助のうち、本来だと補助がつくんですけども、実際年度が変わってから、新年度になってからの補助というふうになったそうですので、元年度の実績はないということです。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ということは、今の答弁を解釈すると、100%一財で出したということですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 今年度についてはそういうことになります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書の64ページの1項1目の農業委員会費になるのかと思うんですけど、最近でも、従来から雑草の繁茂に悩んでおる地域の住民の方から御意見を聞いておるんですが、宅地だと思っていたところが農地だったという経験がありまして、昨年度はそういった農地の適正利用についての調査や、そういった実態の報告なんかは農業委員会になんかされておるようでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 市民の方から連絡があったときには、空き地だというふうに思うと環境課のほうに連絡が入るようなんですが、その後、その土地の地目だとか調べて、農地の場合については農業政策課のほうで現地を調査して、それで所有者の方にお手紙を差し上げて、周囲の方に迷惑がかかっているのを雑草を刈り取るようにというような、そういう依頼はしています。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 ちなみに昨年度、そういった手だてで現所有者が具体的な手だてを自主的に取ったような事例、件数なんかは何件か、ございましたか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） すみません、件数までは把握はしておりません。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 農業費の全体的なことをお伺いしますけども、農業政策課が独立して、この元年度が最初の年か2年目か、ちょっと記憶がちょっと定かではありませんけれども、課を新しくつくるということは、それなりに目的があってやっていることだと思えますけ

れども、この実績を見る限りでは、カリフローレ以外にあまり何か新しい政策目標を立てて取り組んでいるというふうには見えないんですけども、その辺のところはどうなっているのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 農業政策課になったのは平成30年度からですので、元年度は2年目となります。令和元年度に行ったこととしましては、令和2年度に農業委員等の改選があるものですから、その前の年度だということで公募の事務をしました。それから、人・農地プランの実質化に向けての準備というようなことで、地図作りだとかもしております。それ以外に農業委員とか、農地利用最適化推進員の協力を得て荒廃農地の調査なども行っております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございますか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 豊明の農業の一番大きな問題は、担い手が少なくなっている、高齢化しているということだと思うんですけども、新規営農が、例えばその課になってから2年間の間に新規営農が増えたとか、あるいは農業従事者の平均年齢が下がったとか、そういったようなことが実績として上がってきておるのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 担い手づくりだとかは、短い期間で実績として上がってくるものではないものですから、これから徐々に人・農地プランだとか、そういった実質化だとかについても進めていくことによって、だんだんと解消していくように努力をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 人・農地プランはもう数年前にたしかできたプランで、現地の調査をして要望も聞いてやっておるはずなんですけど、その人・農地プランで、例えば集落営農だとか、あるいは中には市民農園をやりたいというようなそういう、アンケート結果を見るとそういうのも載っていましたがけれども、そういったことには取り組んでないのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） まず、そのアンケート結果を元にして、実際に人・農地プランの対象になっておる地区に1筆ずつ、この農地はどのようなことを希望しているというようなことを集約することを、令和元年度に行いました。これから先、それをどのようにしていくかというようなことを、また話し合いだとかをして進めていく予定になっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 実績報告書の65ページの4目 畜産振興補助事業の中の環境衛生対策に対する補助ということで10万円上がっているんですけど、これの内容を教えてほしいのと、今、組合員として加入農家さんが何軒あるか、お聞きしたいです。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 家畜環境衛生促進事業補助金のほうでよろしかったでしょうか。

まず、補助している団体、豊明畜産組合なんですが、組合員数は4軒です。こちらにつきましては、畜舎に消毒剤、殺虫剤を散布することによって、家畜環境の保全を行っております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 服部委員。

○服部龍一委員 それは、その4軒の農家さんに対して、ぴったり10万というのがどんな内容かということをお聞きしたいんですけど。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

青木課長。

○農業政策課長（青木由美枝君） 今回申請をいただいているのは、4軒のうち、養鶏農家2軒の鶏舎の消毒や殺虫剤を購入するというようなことで申請をしていただいております。そのうちの薬剤購入費の3分の1以内というようなことで10万円は算定されております。もう上限を超えておりますので、予算額の10万円をお支払いしているものです。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 66ページをお願いします。

上から3分の1辺りの5番の農業多面的機能支払事業委託料ということで1件44万というふうになっております。それで、それと似たようなのが8番の次、農業農村多面的機能支払事業補助金というふうになっておりますが、これはどういう関係になっているのか、ちょっと御説明をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） まず、8番のほうの農業農村多面的機能支払事業補助金につきましては、豊明市の勅使水系環境保全の会に対しまして、農地の保全、泥上げ等の地域の活動に対する支援を行っているものです。5番の農業多面的機能支払事業委託料というのは、その事業に対する指導を先ほどの愛知県土地改良事業連合団体に委託しております、その委託料ということになります。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 土地改良事業連合会でしたか、そういうところから、この勅使水系の保全のために具体的にどのようなことをするのか、それから、どんな指導を受けているのか、ちょっと御説明をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） まず、勅使水系保全の会の活動の内容としましては、勅使水系の80ヘクタールの農地に対しまして、のり面の草刈りですとか水路の泥上げ、軽微な施設の補修を行っています。それに対して、土地改良事業団体連合会の補助金申請等の指導を土連のほうに行っているものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 もう一点、その次のところで湛水防除事業負担金というのがあります。この湛水防除の関係、ずっと下のほうへ五、六行飛んで見ていくと県営湛水防除事業負担金というのもありますけれども、ここら辺のところもちょっと関係が分かるように説明をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 湛水防除というのは、湛水というのは農地に水がたまることです。それを防ぐための事業なんですけども、まず上の湛水防除事業負担金というのは、大府市の五ヶ村川第3排水機場というのがございまして、そちらに大脇の水とかが流れていっております。その排水機場の維持管理について、豊明市も半分ではなくて、3割ほど負担をしております。それに対する負担金でございます。

下の県営湛水防除事業負担金というのは、大久伝排水機場がこのたび改修工事をする事になりましたので、それに対する負担金でございます。県の事業に対して13%の負担をしております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 そのすぐまた下に農業水利施設保全対策事業負担金というのが、これは新しくちょっと大きい金額で入っていますけど、これは何でしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 豊明市内には3つの排水機場、大久伝、大脇、阿野と3つの排水機場があります。そちらの監視について、豊明市の市役所のほうで、監視カメラで制御できるようになっております。そちらのほうの改修工事を行っていただくことが、県営でやっていただくことになりましたので、それに対する負担金でございます。こちらのほうは、市の負担は25%となっております。

以上です。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） そのほかはございますか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて6款 農林水産業費の質疑を終わります。

続いて、7款 商工費について、説明をお願いします。

宇佐見経済建設部長。

○経済建設部長（宇佐見恭裕君） それでは、7款 商工費の決算概要を実績報告書に基づき説明をさせていただきます。

実績報告書68ページをお願いします。

1目 商工総務費です。前年度比約1億1,152万円の減額です。主な理由は、平成30年度に企業誘致を目的とした設備投資に関わる補助金を約1億円交付したためです。主な事業は、地方創生推進交付金を活用した前後駅前の活性化事業や、本市のブランディングを進

めるとよあけ花マルシェ事業に引き続き取り組みました。

次に、69ページをお願いします。

2目 商工振興費です。前年度比約1億1,094万円の増額です。主な理由はプレミアム付商品券事業を実施したことによるものです。主な事業は、消費税引上げによる経済的影響を緩和するために実施したプレミアム付商品券事業のほか、商工会への補助事業や、小規模事業者等への補助事業として社宅整備支援補助や店舗等水回り改修工事費補助を行いました。

次に、71ページをお願いします。

3目 観光費です。前年度比約447万円の減額です。主な理由は、桜のライトアップ事業の廃止に伴う観光協会への補助金の減額によるものです。主な事業は市観光協会への補助で、桶狭間古戦場まつりやイルミネーション事業などに対して助成をいたしました。また、今川義元生誕500年を記念しまして講演会を実施し、今川氏ゆかりの地としてのPRを行いました。

次に、72ページをお願いします。

4目 消費者行政推進費です。前年度とほぼ同額です。主な事業は消費者相談事業のほか、消費者保護対策として悪質商法に対する対処方法などの出前講座を開催し、高齢者が被害に遭わないための周知啓発に努めました。

以上で7款の説明を終わります。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 説明は終わりました。

7款 商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書69ページの2目 商工振興費で、プレミアム付商品券事業、これ、販売、まず冊数は何冊になりますか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 販売冊数、枚数、冊数でよろしいですか。

○林 ゆきひろ委員 1枚が5,000円で1,000円のプレミアムですね。お願いします。

○産業支援課長（秋永亘正君） であれば1万4,844冊になります。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書68ページの2、下段のとよあけ花マルシェ事業の委託金についてです。

平成30年度の事業費は420万円でしたが、令和元年度は300万円となっています。どのような内容というか、どの部分を削って予算を削減されたのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 平成30年度は、花マルシェ商品のPRのために、市外でのイベントですとかショッピングモール等に出店することで、花マルシェ事業の認知度の向上に努めておりました。令和元年度につきましては、市外のイベント等への出店に関する費用などを抑えて、一般市民の方の参加を募りまして、そういった方を中心にイベント運営を進めることで、市内での花文化の醸成ですとか花マルシェ商品の販売を実施して経費の削減を行ったものでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁は終わりました。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書69ページ、先ほどのプレミアム付商品券なんですけども、実績報告書70ページにあります商品券の換金業務、こちらの中身ですね。これ、実際に払っている、5,000円掛ける、先ほどの冊数が入っているのかなと思うんですけど、それプラス、あとどういったものが入っているんですか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） こちらは換金業務委託でございまして、その商品券相当金額のほか、換金手数料、あとは振込手数料、そういったものが入っております。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書68ページの一番最初の商工総務事務事業ですけれども、これ、前年より100万円増やして400万円、エキカツ事業事務委託ということでやっておるわけなんですけど、来場者数を見ると前年の半分か3分の1ぐらいに減っておって、雨天のため中止ということもあるかと思いますが。ということであれば、これ、これだけ400万も費用かからなかったんじゃないかなと思いますが、そこら辺りはどのようにされたでしょ

うか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 400万円の増額の理由は、マイクロバスを御用意いたしまして市内の飲食店等に送迎するというごさいました。その他、そういったことで増額をしておったんですけども、雨天のための中止の場合、当日または前日に中止の判断をするものですから、飲食店、出店される方、あるいは出演される方も当然準備をされている中での中止ということでごさいまして、そういった中での費用の削減はちょっとできなかったということでごさいます。

以上でごさいます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございせんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の69ページの下の方のふるさと豊明応援寄附事業のところですけども、令和元年の寄附は2,434万5円で、昨年より174万1,005円増えているんですけど、その要因について教えてください。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 昨年度はかなり寄附金額の大きなものが多く寄附されたことによって、寄附全体の額も大きくなりました。その中身としましては、PET-CT検診というものがございまして、これは、それを投与すると体のがんの早期発見に資するものでございまして、これが1件33万円の寄附額になっております。それが昨年度は17件という非常に大きな件数で寄附がされたものですから、寄附金額が全体的に増加したというものでございまして。

以上でごさいます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございせんか。

清水委員。

○清水義昭委員 エキカツのことなんで、さっきの実績報告書の68ページなんですけども、市内の飲食店の案内無料バスを出すということで委託料を増やしたと思うんですけども、こちらのほうの使用をされた人数というのはどれぐらいだったのでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 何度かアナウンスをして利用していただくように促した

んですけど、結果的に6名の利用でございました。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書69ページのちょうど真ん中辺りですけれども、行の後ろのほうに豊明市中小企業再投資促進補助制度の事業計画の申請があつてこれを認定したというふうに書いてありますが、これ、昨年度1億円の補助というような事業もありましたが、今回は、差し支えなければ、どういう業種で、これで補助金は、元年度には支払われていないと思いますが、これは幾らを想定しているのかということをお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 業種といたしましては自動車部品の製造でございます。金額としては769万円の事業費を認定しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の69ページの先ほどのプレミアム付商品券ですけど、これはほとんど国からの補助が下りると思うんですけど、市の一般財源から出ている部分というのはあるんでしょうか。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 回答願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） これは事業費としてほぼ100%が国の事業費ですので、1,000円未満の端数は市単になってくるんですけども、全額が国の負担というふうになっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書69ページです。3の企業誘致・企業留置です。

ここに書いてある、以前から複数年で取り組んできている誘致事業の昨年度版だと思っておりますが、最近、企業の事業所の工事を盛んにやっている境川に近い地域の様子なんかを見ていると、こういった市のPRの結果なのかなとか思うこともありますが、狙った企業へのこういったPR事業の成果みたいなものというのはいかがだったのでしょうか、昨年。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 設備投資の補助金を、制度をつくっていることによって、市内企業さんについては、例えば工場の増築ですとか、そういったことについては一定程度の効果があるのかなというふうには考えておりますけれども、市外企業さん、市外からの誘致については、こちらとして補助すべきものというのはありませんので、我々としては、3の（1）のPRの中では、東京とか大阪へ出向きまして、こういった制度がありますよ、こういった利便性のある土地ですよということのPRは実施しておるところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 続いて、郷右近副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書の70ページ、8番の市内営業している店舗への水回り改修助成金の昨年度の利用した業種、もちろん店舗だと飲食とか種類はあると思うんですけど、こういった業種の方の利用だったかと、また、この制度を活用、また昨年度1年間されて、どんな御意見が出ているかについても、ありましたらお答えいただきたいと思います。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） やはり店舗としては、お客さんが見える店舗ですので、飲食ですとか、あとは理容業ですとか、そういったところからの申請がございました。また、これは、この制度は昨年度で終わっておるんですけども、それに対する御意見というのは特にはございませんでした。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 実績報告書の71ページの融資の関係ですね。一番上の制度別、それからその次の用途別のところを見ますと、前年と比べると、例えば通常資金は1,000万が3,100万、約3倍に増えています。小口資金も1億5,500万から3億2,800万ということで、倍以上増えている。それから、その下の用途別のところでも運転資金1億2,500万が2億9,600万ということで、これも倍以上に増えているということで、物すごく増えておるわけですが、これ、時期的に年度末はコロナの感染が拡大しつつあった頃ですけれども、そういったような影響でこのようになったということなんでしょうか。それとも何か別の要因があるのか、説明をお願いします。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） これについては、いわゆる景気が急激に落ち込んだことによるセーフティネットによる保証ではなくて、例えば業務拡大ですとか、そういったことに使われるものでございます。ですので昨年度まで、コロナの感染拡大が広がるまでは、景気自体は比較的よかったというふうに考えております。ですので、その1件当たりの融資の金額がそれぞれ増加したのだというふうに考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（宮本英彦議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（宮本英彦議員） これにて7款 商工費を終わります。

これにて本日の委員会を終了いたします。

明9月10日午前10時より委員会を再開し、本日の続きから審査を行いますので、よろしくお願いをいたします。長時間御苦労さまでした。

午後5時7分閉議